



令和元年度

松島町教育

松島町教育委員会

目 次

松島町の概要

町章の由来	1
「松島」の名の由来	1
松島町民憲章	1
町花・町木	1
1 町の略図	2
2 位置，地勢	2
3 沿革	3
4 松島町の人口ピラミッド	3

松島町教育

1 組織	4
2 松島町教育委員会基本方針・基本施策	6
3 夫婦町・秋田県にかほ市（旧象潟町）との教育における交流	7

学校教育

1 学校名と所在地	8
2 学級数及び児童・生徒・園児数，教職員調べ	9
3 松島町立幼稚園教育方針	10
4 幼稚園の概要	12
5 松島町立小中学校教育方針	15
6 小学校の概要	17
7 中学校の概要	23
8 学校給食センター	25

生涯学習

1 生涯学習教育方針	27
2 生涯学習事業計画一覧	29
3 生涯学習事業概要	30
4 町の文化財	35

生涯学習施設

1 松島町の生涯学習関係施設位置図	41
2 生涯学習施設の概況	42
3 平成30年度生涯学習施設の利用状況	49

教育関係各種委員会及び教育団体等名簿	50
--------------------	----

令和元年度松島町教育委員会職員名簿	54
-------------------	----

松島町の概要





町章の由来（昭和38年12月16日制定）

この町章は、「まつしま」を図案化したもので、波を象り円内の部分は融和団結を表し、円外に突出した部分は鳳の翼を形どり躍進松島の姿を象徴する。

「松島」の名の由来

松島という名称のおこりには、昔から多くの伝説がある。その主なものをあげると、

- (1) 聖徳太子が仏教信奉のあまり、達磨大師がわが国に来られることを信じ、松島に來られて現在の扇谷に庵を構えて、その到来を待たれた。待つと松との母音が通ずるので、待島が松島と転化した。
- (2) 見仏上人が雄島で修行されていたころ、時の帝鳥羽天皇が、松の苗木千本を贈られて、これを慰められたので、初めは千本の松の島という意味で千松島と呼んだが後に千を略して松島と呼ぶようになった。
- (3) 源頼朝の夫人政子が、雄島で修行中の見仏上人を慰めるため姫小松千株を贈られた。それで初めは千松島といったが、後に千を略して松島と呼ぶようになった。

その他にもこれと似た伝承があり、こんな伝説からみて松島という名称は、最初は雄島に名づけられたものであったが、次第に範囲が広がって、現在の松島の総称となったと説く人もある。

松島町民憲章（昭和58年4月1日制定）

わたくしたちは、日本三景の美しい自然と伝統ある歴史に誇りを持つ松島町の町民です。

わたくしたちは、この町を愛し力を合わせ、活力あるふるさとをつくるため、この憲章を定めます。

- 一、わたくしたちは、教養を高め体をきたえ、健康なまちをつくります。
- 一、わたくしたちは、仕事にはげみ、明るい家庭と、豊かなまちをつくります。
- 一、わたくしたちは、きまりを守り、住みよいまちをつくります。
- 一、わたくしたちは、互いに助けあい、心のかよう、温かいまちをつくります。
- 一、わたくしたちは、自然と教育、文化を大切にし、美しいまちをつくります。

町花・町木（平成15年4月1日制定）

町花「セッコク」



町木「松」



1 町の略図



2 位置、地勢 【位置：東経 141° 04′ 北緯 38° 22′ 面積：53.56 km²】

松島町は、宮城郡の東端に位置し、東は東松島市、西は宮城郡利府町・黒川郡大郷町、南は松島湾、北は大崎市・遠田郡美里町に隣接し、政令都市仙台市と工業都市石巻市のほぼ中間にある。鉄道は、町域を東西に横断する仙石線、南北に縦断する東北本線がある。道路は国道45号・同346号、主要地方道仙台松島線・大和松島線・奥松島松島公園線・仙台松島道路（三陸自動車道）などがあり、交通の要所となっている。

町面積は53.56km²（国土地理院の編責の計測方法変更により平成26年10月1日より変更）で、平成22年5月に仙塩広域都市計画区域に編入されている。

町土の約50％は松島丘陵の森林であり、眺望・景観のよさで昔から景勝地として知られ、また、日本三景・特別名勝松島として有名であり、東北観光の拠点となっている。

3 沿革

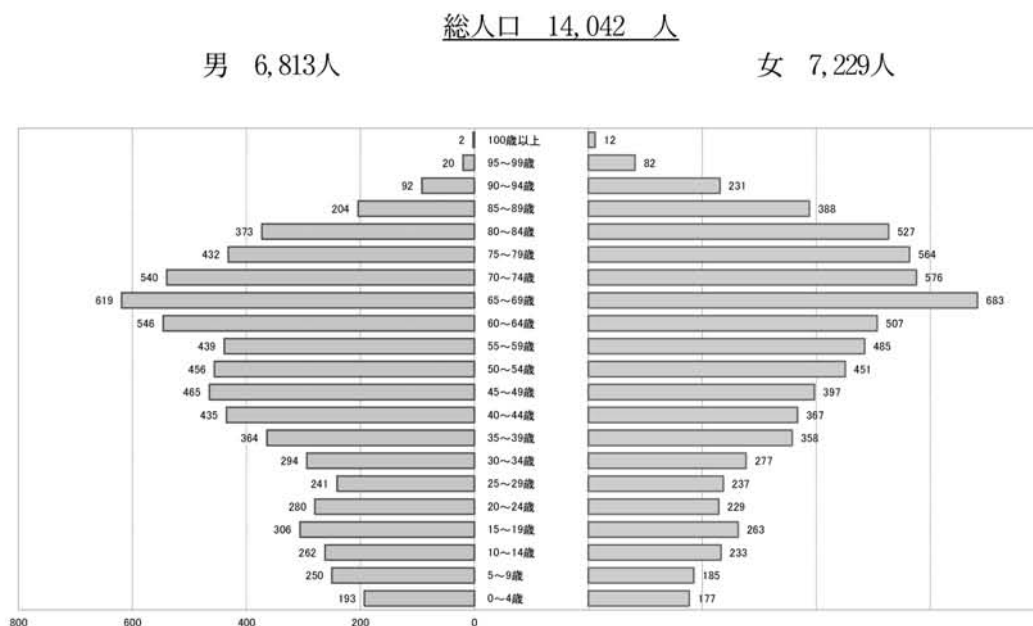
万葉の昔から風光明媚で知られ、日本三景の一つに称される松島町は、宮城県の中央部に位置し、松島湾に浮かぶ大小260余の島々を包含する町である。松島の緑を添えた島々は、長い年月の波浪浸食、風化作用によって四季を通じてそれぞれ異なった景観を呈する自然美と、数多くの歴史的、学術的にも価値の高い文化遺産が残されている。明治35年に「県立自然公園」、大正12年には国の「名勝」に、昭和27年に国の「特別名勝」にも指定されており、その美しいたずまいは俳聖松尾芭蕉も絶賛した屈指の景勝地である。

本町は、古くから多くの人びとが居住していたことは、国指定史跡の西の浜貝塚に代表される町内各地域に散在する遺跡が示すとおりで、縄文時代より土器による製塩が行われていた地域でもあった。

近世に至っては伊達氏の領地となり、品井沼干拓工事が行われるなど、低湿地や湖沼・海浜地の埋め立てにより農地の開発整備が進んだ。明治4年に仙台藩を廃して仙台県として郡及び町村の呼称を改めた結果、大小区制となり、第2大区、小13区と称された。明治22年県令で従来の連合村であった松島村、高城村、本郷村、磯崎村、手樽村、北小泉村、竹谷村、幡谷村、根廻村、初原村、桜渡戸村をもって松島村とする旨の公布があり、その後昭和3年に町制の施行で現在に至っている。

町の産業基盤は観光、農業、漁業、商業で、とりわけ年間300万人近い観光客が来遊する観光産業は、国宝瑞巖寺や国重要文化財の五大堂など数々の歴史的建造物を有することから、現在これらの保全を優先しつつ、多様な観光需要に対応可能な高い機能を有する国際観光都市を目指した取組が進められている。

4 松島町の人口ピラミッド



松島町人口ピラミッド (令和元年5月1日現在)



松 島 町 の 教 育

1 組織

(1) 教育委員会制度

教育委員会は、合議制の執行機関として法律（地方自治法第180条の5）の定めるところにより、普通地方公共団体におかなければならない委員会の一つである。

松島町教育委員会の職務は、教育の政治的中立性、継続性・安定性を確保しながら、松島町が執行する教育に関する事務について、地方教育行政の組織及び運営に関する法律の定めるところにより、学校その他の教育機関を管理し、学校教育並びに社会教育その他の教育、学術及び文化に関する事務を管理し、これを執行することである。

(2) 松島町教育委員会

松島町教育委員会は教育長と4人の教育委員で構成されている（下図参照）。教育委員は、人格が高潔で教育、学術及び文化に関し、識見を有するもののうちから町長が町議会の同意を得て任命する。教育長は、人格が高潔で、教育行政に関して識見を有するもののうちから町長が議会の同意を得て任命する。

教育長は、教育委員会の会議を招集し、かつ主宰し、教育委員会を代表する。また、教育委員会の権限に属するすべての事務をつかさどり、事務局を指揮監督する。

教育長職務代理者は、教育長が指名するもので、教育長が職務を行うことができないときや教育長が欠けたときに、教育長の職務を代行する。

教育委員会の方針や決定の下に、事務の執行は教育長が行い、具体的な事務処理は事務局が行う。



教育長
内 海 俊 行



教育長職務代理者
瀬 野 尾 千 恵



委員
鈴 木 康 夫



委員
赤 間 里 香

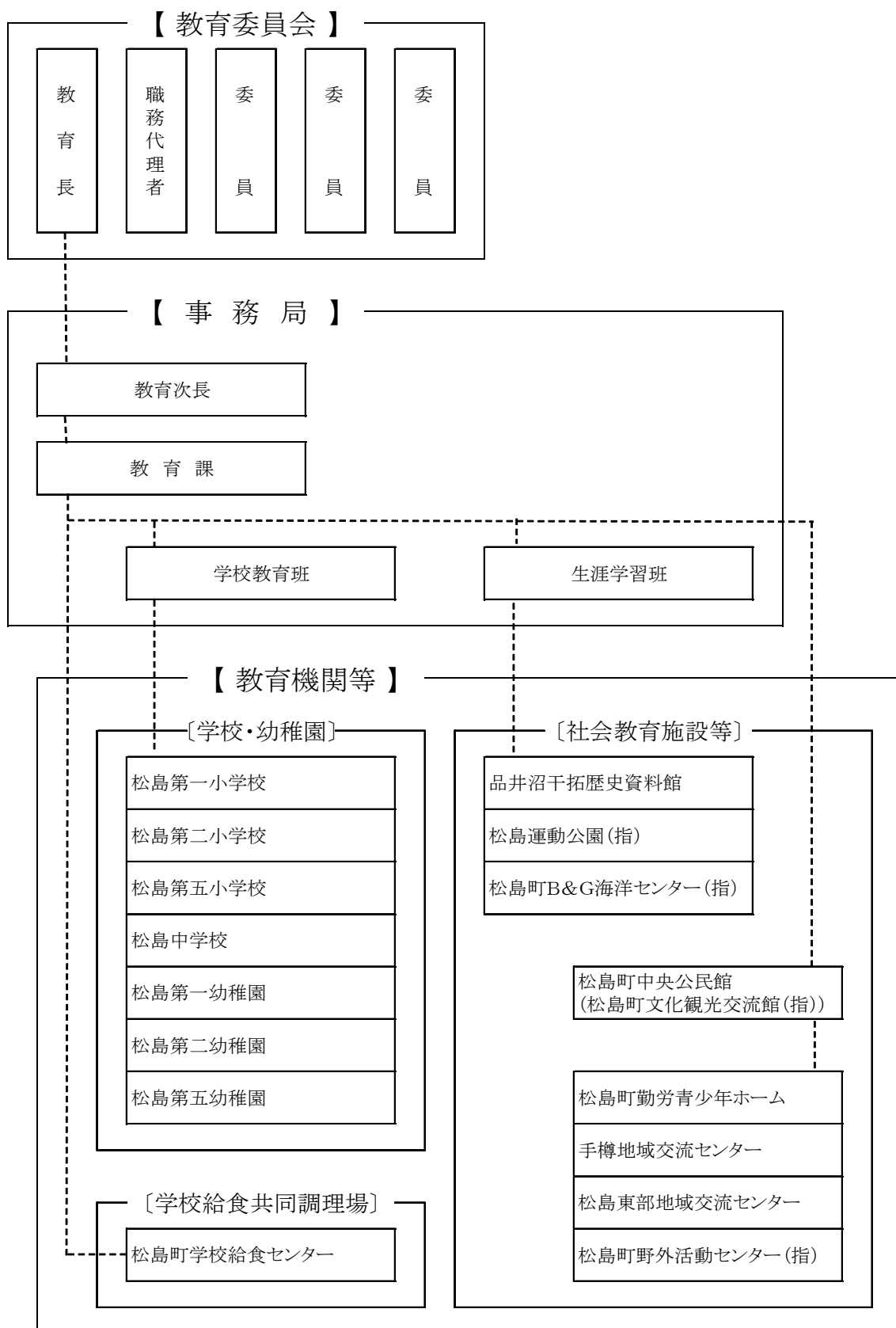


委員
佐 藤 実

役 職	氏 名	委員就任年月日
教 育 長	内 海 俊 行	平成 30 年 6 月 27 日
教育長職務代理者	瀬野尾 千 恵	平成 30 年 2 月 25 日
委 員	鈴 木 康 夫	平成 28 年 10 月 1 日
委 員	赤 間 里 香	平成 27 年 10 月 1 日
委 員	佐 藤 実	平成 29 年 6 月 9 日

(3) 教育委員会組織図

松島町教育委員会 組織図



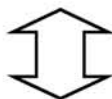
2 松島町教育委員会基本方針・基本施策

本町の今後10年間の教育の理念と指針を定めた松島町教育振興基本計画（平成25年3月策定）に基づき、町民として日々成長する望ましい姿・めざす姿を実現するために以下の教育基本方針のもと、5つの基本施策及び重点事業（平成30年3月改訂）を示し、町民の生涯学習の充実と進展を図るべく、松島の歴史と文化の継承と創造を推し進めるとともに「幼児教育・学校教育の向上」及び「地域や家庭における教育の再生と活性化」を達成する町民総参加型の教育振興を推進していく。

【松島町教育振興基本計画における本町教育のめざす姿】

『誇りと絆を育みしなやかに生きる松島人』

- 松島を愛し、一人一人が自信と誇りを持った個性豊かな松島人
- 学校・家庭・地域において学び合い、支え合う絆を大切にする松島人
- 新たな時代をしなやかに力強く生き抜く松島人



【基本方針】

「松島で生きて 松島を大切にし 豊かな心を育てる」

～品格ある松島人を志し、学び続けるために～

- 基本方針Ⅰ： 社会全体で協育し、笑顔あふれる松島人を育成する
- 基本方針Ⅱ： 学校・家庭・地域が協働し、夢と志を育み、しなやかに力強く生き抜く松島人を育成する
- 基本方針Ⅲ： 松島の豊かな教育資源に学ぶ教育活動を推進し、郷土の景観に 誇りをもち、新たな文化を創造する松島人を育成する
- 基本方針Ⅳ： 生涯にわたる学習・文化・スポーツ活動を推進し、健康で豊かな人生を送れる松島人を育成する



どんぐり松っちゃん

3 夫婦町・秋田県にかほ市（旧象潟町）との教育における交流

（１）夫婦町の経緯

松島町とにかほ市（旧象潟町）は、俳聖松尾芭蕉の紀行文『おくのほそ道』で「倂（おもかげ）松嶋にかよいて又異なり 松嶋は笑うが如く 象潟はうらむがごとし」とつづっているように、往時から広く世に知られた対照的な絶景の地である。

また、約700年前、旧象潟町横手出身の谷（たに）が松島町のすでに他界した小太郎に嫁ぎ、その父母に孝養を尽くし、一生を小太郎に捧げた軒端の梅心月庵紅蓮尼の物語は日本女性の鑑として語り伝えられている。

こうした地理的、歴史的背景によって両市町は夫婦の如く存在し、緊密に結ばれていることから、昭和62年8月1日に「夫婦町」の盟約を交わしている。

平成23年3月11日に発生した東日本大震災においては、夫婦町災害相互支援協定（平成13年8月29日締結）により本町に対していち早く救援物資や職員派遣の支援をいただくとともに、各種団体や個人からも多くの義援金が寄せられた。なお協定は東日本大震災を経て、新たに平成24年8月6日に再締結された。

平成24年8月6日には、夫婦町の交流25周年を記念して『夫婦町締結25周年記念除幕式』、『にかほ市・松島町銀婚式』が開催された。平成29年7月7日には、『夫婦町締結30周年記念式典』が開催された。



（２）夫婦町との交流

これまで松島町とにかほ市の交流は、旧象潟町の「十日会」の活動が縁で始まり、市町議会、行政員、婦人会、青年グループ、各種スポーツ団体等多くの人々が交流を積み重ねている。

野球・サッカー・バレーボールのスポーツ少年団等における相互訪問交流や両市町のイベント交流ばかりでなく、松島町教育委員会では、教職員の指導力及び家庭における教育力の向上を目的とした、にかほ市教育委員会との交流事業も盛んに行われている。



秋田県にかほ市

学 校 教 育

1 学校名と所在地

(令和元年5月1日現在)

学校名	所在地	電話番号	校長	教頭
松島第一小学校	松島字道珍浜10番地	022-354-2384	ながぬま しやういち 永 沼 昌 一	ながの たかお 永 野 孝 雄
松島第二小学校	高城字反町五14番地	022-354-2456	たなべ あきひろ 田 辺 昭 浩	えんどう かつみ 遠 藤 克 己
松島第五小学校	幡谷字新田5番地1	022-352-2101	かんだ ゆうき 神 田 裕 樹	ちば まさひろ 千 葉 雅 弘
松島中学校	高城字三居山一6番地1	022-354-3309	たかはし たくや 高 橋 琢 哉	やまだ けんいち 山 田 健 一

幼稚園名	所在地	電話番号	園長
松島第一幼稚園	松島字道珍浜15番地	022-354-4005	こんの しほ 今 野 志 保
松島第二幼稚園	高城字反町五14番地	022-354-2401	かまだ あつこ 鎌 田 敦 子
松島第五幼稚園	幡谷字新田5番地1	022-352-2473	だいぐうじ ようこ 大宮司 陽 子

2 学級数及び児童、生徒、園児数・教職員調べ

(令和元年5月1日現在)

・学級数及び児童、生徒、園児数

学校名	1年			学級数	2年			学級数	3年			学級数	4年			学級数	5年			学級数	6年			学級数	特別支援学級			学級数	計			学級数				
	児童数		男		女	児童数			男	女	児童数		男	女	児童数		男	女	児童数		男	女	児童数		男	女	児童数		男	女						
	男	女				男	女				男				女				男				女				男				女		男	女	男	女
第一小学校	28	22	2	22	28	2	30	18	2	29	21	2	30	28	2	23	25	2	4		2	166	142	14												
	50			50			48			50			58			48			4			308														
第二小学校	10	3	1	11	10	1	18	10	1	15	12	1	12	16	1	15	17	1	1		1	82	68	7												
	13			21			28			27			28			32			1			150														
第五小学校	7	4	1	6	7	1	6	5	1	6	6	1	6	7	1	5	3	1	4	1	4	40	33	10												
	11			13			11			12			13			8			5			73														
小学校計	45	29	4	39	45	4	54	33	4	50	39	4	48	51	4	43	45	4	9	1	7	288	243	31												
	74			84			87			89			99			88			10			531														

松島中学校	54	39	3	52	39	3	48	50	3									6	3	2	160	131	11
	93			91			98											9			291		

幼稚園名	3歳児			4歳児			5歳児				計		
	園児数		学級数	園児数		学級数	園児数		学級数		園児数		学級数
	男	女		男	女		男	女			男	女	
第一幼稚園	5	5	1	16	6	1	12	5	1		33	16	3
	10			22			17				49		
第二幼稚園	6	7	1	10	6	1	6	6	1		22	19	
	13			16			12			41			
第五幼稚園	4	1	1	6		1	7	2	1	17	3	3	
	5			6			9			20			
幼稚園計	15	13	3	32	12	3	25	13	3	72	38	9	
	28			44			38			110			

・教職員数

学校名	教員(講師含)			事務職員	養護教員	栄養職員	町費負担業務員	教育補助員	総計		
	男	女	計						男	女	計
第一小学校	9	12	21	1	1		1	3	11	16	27
第二小学校	8	3	11	1	1		1	1	9	6	15
第五小学校	8	5	13	1	1		1	1	9	8	17
小学校計	25	20	45	3	3		3	5	29	30	59

松島中学校	15	8	23	1	1	1	1	3	17	13	30	※栄養職員1人は、学校給食センター勤務
-------	----	---	----	---	---	---	---	---	----	----	----	---------------------

幼稚園名	教員(講師含)			教育補助員	総計		
	男	女	計		男	女	計
第一幼稚園		4	4	3		7	7
第二幼稚園		4	4	2		6	6
第五幼稚園	1	2	3	5	1	7	8
幼稚園計	1	10	11	10	1	20	21

※教員女4人のうち1人は保育所長と兼務

3 松島町立幼稚園教育方針（「松島町教育振興基本計画」に基づく）

基本施策1：幼児教育の充実

『元気でのびのびとし、表現豊かな松島っ子の土台づくり』

幼児期における目指す子ども像

- 健康で元気な笑顔あふれる子ども
- すなおで思いやりのある子ども
- 自分で考え行動し、自分を表現できる子ども

1) 元気な心と体の育成

- ①幼児の身体能力向上（体づくり運動の活用、外遊びの推奨）
- ②ALTによる国際理解教育の実施（英語教育の推進、英語遊びの実施）
- ③施設の整備と管理の充実
 - ・教育環境の整備（町内幼小中学校に空調設備設置）
- ④絵本・読書教育の推進
- ⑤基本的な生活習慣・食育・むし歯予防の推進
- ⑥親子の心の健康をサポートする相談体制の充実
- ⑦園外保育・自然体験学習の充実

2) 幼保小中高の連携推進

- ①幼稚園・保育所・小学校等の相互の交流事業の実施
- ②幼保合同の幼児教育の研究・開発（幼保連携したアプローチカリキュラムの実践）
- ③特別支援の早期体制づくりと連携による支援
- ④中学生・高校生等の保育ボランティア・保育体験の実施

3) 家庭の教育力向上支援 ～家庭でつくる親子の時間～

- ①親子ふれあいの推進
- ②乳幼児健診・健康相談時における親子のかかわりについての啓発
- ③子育て事業・育児サークルをとoshた楽しい子育ての啓発と支援
- ④幼稚園・保育所における親子行事・家庭教育と連携した事業の実施

4) 地域で支える子育ての支援

- ①保護者・祖父母・地域・ボランティア・NPO等と協働による交流型学習や子育て支援教育の連携の推進
- ②家庭教育講話や親子体験行事の実施
- ③一時保育による子育て支援の実施
- ④家庭教育の支援・園庭開放・体験入園の実施
- ⑤ごみゼロ運動や花いっぱい運動等の活動の推進
- ⑥教育活動の地域・家庭への積極的な発信（ホームページ、園だより等）

5) まつしま防災学（幼児期）の推進

- ①まつしま防災学（幼児期）による命を守る教育の推進
- ②幼小中や地域との協働による防災訓練・交通安全教育等の実施

付記

松島町立幼稚園 教育の指針（教育長指示 平成29年～）

- ・品性教育の推進 → 人とかかわりに関する領域『人間関係』
- ・躰育（だんいく）の推進 → 心の健康に関する領域『健康』
- ・英語教育の推進 → 言葉の獲得に関する領域「言葉」
- ・読み聞かせ教育の推進 → 言葉の獲得に関する領域「言葉」
- ・指先教育の推進 → 感性と表現に関する領域「表現」、身近な環境とかかわりに関する領域「環境」

町内幼稚園「統一園歌」

松島幼稚園園歌

作詞 鈴木 勝郎
作曲 石川 宗三郎

一、ヒョロロン とんびが

なっている

島美しく 日がのぼる

明るくなかよく

うたいましょ

松島 松島幼稚園

あら あら

お花も 咲いている

二、スイスイ かもめが

舞っている

海から 青い 山の上

明るく元気に

かけっこよ

松島 松島幼稚園

あら あら

蝶々も 飛んでいる



4 幼稚園の概要

松島町立松島第一幼稚園



〒981-0213

松島町松島字道珍浜15番地

TEL (022) 354-4005

FAX (022) 354-4005

開園記念日 7月15日



1 地域と園の実態

本園は日本三景・特別名勝「松島」の中に位置し、東北本線松島駅に近く、また仙石線・高城町駅と松島海岸駅の間にある。幼児は高城、磯崎、松島の三地区から通園をしている。幼稚園の近くに多数の歴史的建造物や史跡などがあり、観光客で賑わうが自然環境は比較的少ない。

幼児の多くは入園する前に乳幼児サークルや保育所の経験があり、集団生活に慣れている。元気で明るい子が多く、保護者も園に対する協力を惜しまない。

2 園の経営方針

- ・幼児一人一人が、安心していきいきと生活できる環境づくりの工夫や、様々な体験活動を通し、幼児が生きる力の基礎を培うための指導や援助に努める。
- ・幼児、教師、保護者が信頼し合い密接に連携を進め、幼児、保護者の情報を共有し教育を進める。
- ・幼稚園と小学校の円滑な接続を図るため計画的な幼小の連携を努める。
- ・五つの品性教育「1・おはようございます」「2・こんにちは」「3・さようなら」「4・ありがとうございます」「5・ごめんなさい」の指導の充実に努める。

3 重点努力目標

- ・幼児主体の活動を重視し、独自性、創造性の発揮が期待される教育の編成に努め、学ぶ土台作り（親子のかかわりの促進・基本的生活習慣の確立・豊かな体験活動による学びの促進・幼児教育の充実のための環境作り）を行う。
- ・自然に親しみ感動する心と地域を愛する心情と態度の育成に努める。
- ・積極的に身体を動かすための環境設定や援助に努め、心身ともに健康な幼児の育成を図る（運動遊び・フットサル等）。
- ・安全指導と望ましい基本的生活習慣の確立の育成に努め、五つの品性教育を推進する。
- ・食育実践に努める（はやね・はやおき・あさごはんの歌や体操・栽培活動等）。
- ・活動の中で、英語の歌に合わせて、体を動かし、自然な流れで英語に親しめるよう努める。



松島町立松島第二幼稚園



〒981-0215

松島町高城字反町五14番地

TEL (022) 354-2401

FAX (022) 354-2401

開園記念日 7月15日



1 地域と園の実態

松島の東側に位置し、東北本線愛宕駅に近い。幼稚園統合により、園児は本郷、初原、上幡谷、桜渡戸、手樽、下竹谷、北小泉から通園をしている。当幼稚園は松島第二小学校に隣接し、高城保育所分園が併設している。国道45号、346号、県道仙台・松島線（通称利府街道）、三陸自動車道が縦横に走り、交通事情は頻繁で、園児の交通安全対策には万全の注意を払っている。

地域に乳幼児サークルがあり、親相互のつながりや子ども同士の交流がなされている。保護者は教育に対して関心が高く、熱心かつ協力的である。

2 園の経営方針

- ・一人一人の発達の特性に応じた教育課程の編成と日々の教育活動の充実を図る。
- ・教師の資質を高めるための園内研修の充実に努め、活力と創意工夫に満ちた園づくりに取り組む。
- ・保護者・地域との信頼を基盤に、地域とともに成長する園づくりを推進する。
- ・隣接する小学校、併設する保育所との交流を図り、協働、自立の精神を養う。

3 重点努力目標

- ・教育課程を明確にし、幼児が自ら意欲的に取り組む環境と援助のあり方を工夫する。
- ・保護者や地域社会との連携を図り、地域を愛する心情や態度の育成に努める。
- ・健康維持増進のために積極的に体を動かし、心と体を鍛える幼児の育成に努める。
- ・基本的生活習慣を身に付けさせるために、返事・挨拶・片付けの励行に努める。
- ・安全教育、防災教育の計画的な指導を通して、基本的な災害対応能力を育成する。
- ・小学校が隣接する利点を活かし、相互の連携を深めていく中で、長期的な視野をもって、幼児の主体的な学びを充実し、学校教育への円滑な接続を図る。
- ・松島町元気力向上プログラムの推進に努める。



松島町立松島第五幼稚園



〒981-0205
松島町幡谷字新田5番地1
TEL (022) 352-2473
FAX (022) 352-2473
開園記念日 7月15日



1 地域と園の実態

松島町の北部に位置し、東北本線品井沼駅を中心に開かれた田園とゆるやかな山々に囲まれた静かな地域である。古くからの集落と新しく西部に開発された住宅地があり、生活環境に差異がみられる。

吉田川や元禄潜穴、明治潜穴などでも知られ、童謡「どんぐりころころ」の作詞者・青木存義の生誕の地としても有名である。

小学校に隣接しており、保育活動、幼小連携、その他恵まれた環境にある。

2 園の経営方針

- ・ 幼児が生き生きと生活できる環境作りを工夫し、一人一人の発達の特性にに応じ指導や援助に努める
- ・ 様々な活動に意欲的に取り組み、自己を発揮しながらみんなで仲良く遊べる幼児を育てる。
- ・ いろいろな体験活動を通し、幼児が生きる力の基礎を培うための指導や援助に努める。
- ・ 小学校との円滑な接続ができるように、「アプローチカリキュム」の推進に努める。
- ・ 保育改善や幼児理解についての研修を充実し、実践的な指導力の向上を目指す。

3 重点努力目標

- ・ 幼児が安心していきいきと生活できる環境づくりを工夫し、一人一人の発達の特性にに応じた指導、援助に努める。
- ・ 様々な体験活動を通し、幼児が生きる力の基礎を培うための指導や援助に努める。
- ・ 教師、保護者が信頼し合い、連携して教育を進めるとともに、関係諸機関と連携を密にし、一人一人の幼児に対して適切な支援や子育て支援に努める。
- ・ 小学校との連携、接続を図り、発達上の課題を共有し、幼児期の教育のつながりを意識した指導、援助に努める。
- ・ 幼児理解についての研修や適切な評価を行い、実践的な指導力の向上及び園経営の改善向上に努める。



5 松島町立小中学校教育方針（「松島町教育振興基本計画」に基づく）

基本施策2：学校教育の充実

『未来の松島を担う、夢と志をもち、誇りと自信に満ちた児童生徒の育成』

育みたい児童生徒の姿

- 松島に学び、松島を誇りに思い、松島の未来を担おうとする気概をもつ人間
- 国際化、情報化など変化の激しい時代を心豊かにたくましく生きる人間
- 正義と良識を重んじ、支え合い共に生きようとする人間

1) 一人一人の児童生徒への確かな学力の保証

- ①個に応じたきめ細かな指導による確かな学力の保証
 - ・学習指導体制（少人数指導、習熟度に応じた指導、T・T、教科担任制）の充実
 - ・全国学力・学習状況調査と町統一学力テストを活かした指導の充実
 - ・特別支援教育の充実（幼小中の特別支援教育の連携推進）
- ②家庭学習の習慣化
 - ・家庭との協働による家庭学習習慣の浸透
 - ・家庭読書の日の制定と普及
 - ・自学自習の学びの場づくりの支援
- ③教職員研修の充実
 - ・学力向上推進体制の整備（地域の教育力の組織化と学び支援の体制整備）
 - ・秋田県にかほ市との教育研修交流
 - ・校内研究の指導・支援の体制整備
 - ・県指定による「小中連携英語教育推進事業」の展開（町内小中学校2年間指定）
 - ・松島高等学校の県指定「発信型英語拠点校事業」との連携（松二小・松中がタイアップ1年間指定）

2) 夢と感動のある学校づくり

- ①児童生徒が主体となり、協力と達成の喜びを体験できる教育活動の創造と支援
- ②郷土松島を素材とする歴史文化教育と豊かな自然に学ぶ教育の工夫と実践
- ③異校種間の特徴を生かし、教職員相互の資質向上を目指す小中交流授業の推進
- ④未来を志向した学校諸施設の充実とICT等の教育設備の充実
- ⑤世界とつながる機会と体験を提供する国際理解教育の推進
 - ・松島町グローバル人材育成を目標とした各種事業による国際感覚の醸成
- ⑥言語力と発表力等コミュニケーション能力や創造力が育つ学校全体の環境づくり
- ⑦県内外の諸学校との交流活動の推進
- ⑧教育活動の地域・家庭への積極的な発信（ホームページ、学校だより、学級だより等）
- ⑨地域とともにある学校（コミュニティー・スクール）への転換
 - ・町内小中学校に学校運営協議会を設置
- ⑩学校運営協議会と対をなす地域学校協働推進活動の推進組織の充実

3) 心身ともに健全な児童生徒の育成

- ①全町での不登校ゼロの取組の推進
 - ・いじめ防止対策基本方針の徹底及び連携体制・重大事案における体制整備
 - ・児童生徒への定期的なアンケート実施等による実態把握と共通理解による早期対応
 - ・心のケアハウス事業実施による不登校児童生徒の家庭とのコミュニケーション強化と相談体制の確保

- ・認め励まし合いながら、思いやりと信頼関係を育む取組の推進
- ・一人一人を大切にする生徒指導の推進
- ②子どもたちの安心・安全を守る取組の推進
 - ・いじめ・虐待・不登校・学校不適応・非行・自殺等予防・心のケアなど
- ③体力の向上や健康増進に向けた方策の推進
 - ・体力づくり運動，体力テストの活用，体育施設等の整備，むし歯予防の取組，正しい生活習慣・食習慣の育成
 - ・教育環境の整備（町内幼小中学校に空調設備設置）
- ④学校・家庭・地域が一体となった品性豊かな調和のとれた子育て活動の推進
 - ・あいさつ運動，道德教育，伝統文化教育，読書活動の推進，親子のふれ合い活動の推進
- ⑤幼保小中高の連携の推進

4) 松島の歴史と文化を学ぶ活動の充実

- ①総合的な学習の時間の充実
 - ・義務教育9年間を見通した郷土松島を素材とする「松島まるごと学」（歴史文化教育カリキュラム）の実践，地域及び学校間連携の推進
- ②キャリア教育，志教育の推進
 - ・松島町内での職場体験学習の推進
- ③国際交流，地域間交流の推進
 - ・秋田県にかほ市との生徒間交流とICTを活用した国際交流

5) まつしま防災学の強化

- ①「自助」「共助」「公助」を基軸に据えた「まつしま防災学」の推進
- ②地域との協働した防災教育の実施
- ③安全な教育環境の整備と防災体制の整備

付記

松島町立小中学校 学習指導の指針（教育長指示 平成27年～）

「授業は授けるのではない。鍛錬し育てる場である。」

- ・明確な目標を持たせ，授業を展開する。
- ・話し合い活動を積極的に取り入れる。
- ・ノートを活用した授業を進め，評価する。
- ・子どもの良さを認め，褒める。
- ・授業と一体となった宿題で家庭学習を習慣づける。

6 小学校の概要

松島町立松島第一小学校



〒981-0213
松島町松島字道珍浜10番地
TEL (022) 354-2384
FAX (022) 353-3464
開校記念日 7月15日



1 学区、学校の概要

本校は、日本三景「松島」の中心に位置し、学区内には瑞巖寺や五大堂などの由緒ある建築物や、芭蕉の句碑などの史跡が数多く所在する。学区は、観光中心の松島地区、商業中心の高城地区、農漁業・住宅地地域の磯崎地区に分かれている。保護者の職業は多彩であり、教育に対する関心は高く、学校運営に協力的である。

本校は明治6年の開校で、校名の改称、分校の統廃合等を経て現在に至っている。現在の校舎は、昭和48年に完成したもので、平成11、12年度に耐震補強工事を含む大規模改修工事が行われた。

平成23年3月11日の東日本大震災により、校庭への津波の浸水と校舎の損傷があったが、同年11月に新体育館が完成し、翌平成24年には、校舎災害復旧工事も完了した。体力づくり推進校、福祉ボランティア学習推進協力校、小学校教科担任制モデル事業校、豊かな心を育む研究指定校事業としての研究成果は伝統として受け継がれている。平成28年度から県教委の「豊かな心を育む研究指定校事業」を受け、「特別な教科道徳」の研究に取り組んできた。今年度からは、県教委の「小・中学校英語教育推進事業」を受け、小中が連携した教育について、外国語・外国語活動を中心に研究に取り組んでいる。

2 学校経営の概要

(1) 基本方針

宮城県教育委員会教育基本方針及び仙台教育事務所管内学校教育・生涯学習指導の重点並びに松島町教育委員会重点施策（松島町指導力向上プログラム等）に則り、また児童や地域の実態に応じた教育課題を的確に捉え、以下の基本方針で経営にあたる。

児童一人一人の特性を生かし“松島第一小学校の児童”としての誇りと“ふるさと松島”を愛する心を持ち、健康で活力と創造性に富む人間性豊かな児童の育成を目指す

(2) 教育目標

『学び合い（知）認め合い（徳）高め合う（体）児童の育成』

① 目指す児童像

○自ら学ぶ子

・よく考えて、進んで取り組み、解決できる子ども

○思いやる子

・友達の気持ちを考えて行動できる子ども

○たくましい子

・心も体も健康で、自分の身は自分で守る子ども

② 目指す学校像

○児童一人一人の生命の安全に努める学校

- ・真剣で主体的な学習が行われる楽しい学校
- ・児童一人一人を生かした教育活動の創造と推進が見える学校
- ・明るい挨拶がとび交う和やかな学校
- ・保護者、地域との信頼関係が深い学校

③目指す教師像

○子どもと共に歩み、心を耕す教師

- ・分かる授業づくりと学ぶ楽しさを教えることに努める教師
- ・常に研修に努め、指導力の向上を目指す教師
- ・人間的な魅力と教員としての専門性をもつ教師
- ・高い“志”と倫理観をもち、高め合い、心身共に健康で協働し合う教師集団

(3) 重点努力目標

- ①町教委の「指導力向上プログラム」を中心に据えた授業展開を行い、基礎・基本を重視した、児童一人一人の確かな学力の保証に努める
- ②思いやりの心を育て、豊かな人間関係を醸成する生徒指導の推進
- ③安全教育・安全管理の推進
- ④特別支援教育の充実
- ⑤コミュニケーションづくりによる信頼関係の構築
- ⑥夢や希望に向かって努力する力を養う「志教育」の推進

松島町立松島第一小学校校歌

作詞 萱場 柔寿郎
作曲 今野 こまつ

一 世界に名高き松島こそは

世界にまたなき眺め

みどりの松かげ

波まにうかび

真白き帆かげに

とぶかもめ

二 望みは高き大鷹森

知識ははるけし太平洋

つとめよ はげめよ

われ人ともに

学びの道に

いそしまん



松島町立松島第二小学校



981-0215
松島町高城字反町五14番地
TEL (022) 354-2456
FAX (022) 353-2935
開校記念日：5月1日



1 学区、学校の概要

本校は、昭和24年4月1日に旧松島小学校より分離し、松島第二小学校として創立された。また、平成3年に現在地に新校舎が完成し、平成19年度に松島第三小学校、松島第四小学校と統合を行い、現在に至る。

学区は松島町の中央部に位置し、広さは町の7割に及ぶ。学区は自然環境に恵まれ、児童が自然に触れ合える学習素材も豊富である。

2 学校経営の概要

(1) 教育目標

『社会の一員としての自覚をもち、自ら学び、思いやりがあり、健康で人間性豊かな児童の育成』

(2) 教育方針

(1) 安心・安全 (Safety)

- ・多面的・多角的な校内見守りを充実させる。
- ・放課後や下校時刻へのタイムリーな注意喚起をする。
- ・施設点検の充実及び施設の改善に努める。
- ・県条例に基づくいじめを生まない土壌作りに努める。
- ・SEL (Social Emotional Learning) に取り組む。

(2) 学校を取り巻く環境変化への対応 (Environment)

- ・環境変化（技術の進展、グローバル化、地球環境問題、働き方改革等）を的確に把握・認識をする。
- ・全体俯瞰、取捨選択、優先順位を付けて迅速に対応する。

(3) 学校統治 (Governance)

- ・コミュニティスクールを本格的に導入する。
- ・学校課題を明確にして情報共有に努める。
- ・提案型、課題解決型の学校運営を進める。
- ・組織としての教育力向上に努める。（「三遊間のゴロを拾う。」※職場の環境を的確に把握し、率先して分掌事務に属さない仕事も主体的に行う姿勢）

(4) 自主・自立 (Independence)

- ・児童の主体的な活動や学び合いを重視する。
（日々の学習や学校課題の解決を含め、児童が考え行動する学校づくりに努める。）
- ・学びに向かう「学校文化」を醸成する。
- ・国際社会に通じる「個」を育成する。

◎目指す児童像

- 〈自学〉「かしこく」進んで学習し、ともに高め合おうとする子ども
- 〈共生〉「やさしく」思いやりがあり、助け合おうとする子ども
- 〈健康〉「たくましく」命を大切にし、健康な体を作ろうとする子ども

(3) 学校経営の重点

1) 真剣に学ぶ学校文化の醸成

- 学びに向かう雰囲気・環境づくり
 - ◇ユニバーサルデザインの導入
 - ◇友達の学習権を尊重する意識の醸成

- ◇互いに認め合い、高め合う学級づくり
- ◇アクティブラーニングの推進
- ◇いじめを許さない風土づくり
- 児童の学力向上対策を検討・実施
 - ◇松っこ学級, Summer School, Winter Schoolの有効活用
 - ◇自学の充実を通じた授業と家庭学習サイクルの確立
 - ◇読書活動の充実とビブリオバトル等の本に親しむ機会の設定
- 2) コミュニティスクールの本格導入
 - 学校運営協議会だよりやHPを通じた積極的な情報発信・共有
 - 地域やPTAとの熟議に基づく、学校課題の解決（学力、いじめ・不登校、スマホゲーム等）
 - ◇学校ボランティアの検討
 - ◇フィルタリング宣言の実態
 - ◇ノーゲーム&減テレビデーの実施
- 3) 働き方改革の推進
 - 学校行事の合理化
 - 業務改善等の検討・実施
 - ◇学校業務の明確化と優先順位付け
- 4) グローカル教育の推進
 - 国際社会に通じるリーダー育成を視野に入れた取組
 - ◇松島町の英語セミナー等への参加の奨励
 - ◇小中連携等による英語教育等の充実
 - ◇各種検定試験の実施
 - 「松島まるごと学」の取組
 - ◇郷土学習の充実と達成感を味わわせる交流活動

3 現職教育

(1) 校内共同研究

「小・中学校の学びの連続性を意識した指導の在り方」（1年目／2年次）
～児童の学習意欲を引き出す言語活動の工夫～

(2) 生徒指導に関する研修

○児童理解研修、カウンセリング研修

松島町立松島第二小学校校歌

作詞 岡本 盛
作曲 高澤 新三郎

一 みどりの松島

空青く
いのちのよろこび
燃えあがる

きよらかに きよらかに
かがやけ

松島第二小学校

二 光もあかるく

さす庭に
希望のうたごえ
わきおこる

たからかに たからかに
かがやけ

松島第二小学校

三 つらぬくまことの

ひとすじに
ゆく道はるけく
花におう

さわやかに さわやかに
かがやけ

松島第二小学校



松島町立松島第五小学校



〒981-0205
松島町幡谷字新田5番1号
TEL (022) 352-2101
FAX (022) 352-2109
開校記念日 7月15日



1 学区、学校の概要

学区は松島の北端にあり、周りの丘陵地から小川が流れ、里山に恵まれた自然豊かな田園地帯である。南と東は松島丘陵地に囲まれ、北と西は品井沼が開墾された水田地帯で、大崎市鹿島台と黒川郡大郷町に隣接している。

学区北側には改修された吉田川が西から横切り、その下を潜るサイフォンにより、鶴田川が高城川と穴川に注ぎ南に流れている。かつて北部に広がっていた品井沼は、旧志田・黒川・宮城郡にまたがる大きな沼で、当学区にも広がっていた。江戸時代元禄期と明治時代に潜穴(トナリ)によって排水する干拓工事が行われ、また、近年の河川改修により見事な水田地帯となっている。その干拓の歴史を物語る遺跡は学区内に多く点在している。

学区は幡谷(425世帯、1259人：平成31年4月30日現在)、上竹谷(113世帯、329人：同)の二つの地区からなり、平成15年より学校北側(幡谷地区)に造成されたくぬぎ台団地(98世帯、327人：同)からなる。児童のおよそ5割がくぬぎ台団地から通っている。JR東北本線が学区中央に品井沼駅を置いて南北に貫くほか、国道346号が西側を走っており、交通の便は比較的良好なところである。

地域の人々や保護者は「地域の学校」との意識が強く、学校に対してとても協力的である。また、校地は日本の愛唱歌「どんぐりころころ」の作詞者である青木存義氏の生誕地である。「どんぐりころころ」をはじめ、郷土の遺産を後世に受け継いでいこうという姿勢が強く見られ、地域学習に良い影響を与えている。

2 学校教育目標

学ぶ意欲と豊かな心を持ち 健やかでたくましい子供の育成

＜目指す子供像＞

- (1) よく考え自ら学ぼうとする子供 【知】
- (2) 明るく思いやりのある子供 【徳】
- (3) しなやかでたくましい子供 【体】

3 学校の経営概要

憲法の精神と教育基本法及び学校教育法に基づき、第2期宮城県教育振興基本計画、仙台教育事務所管内生涯学習の基本方針、松島町教育方針(教育振興基本計画)に従い、保護者や地域社会との連携のもと、全教職員の熱意と指導力を結集して、豊かな人間性、社会性や基礎的な学力の涵養に努め、次の世代に貢献できる心やさしく、たくましく活躍する児童の育成を目指した学校経営を推進する。

4 学校教育を達成するための重点施策

- (1) 適切な指導計画の編成によって、「主体的に取り組む態度」「基礎的な知識・技能」「課題解決のために必要な思考力、判断力、表現力等」を育成し、一人一人を生かす学習指導の充実を図る。
- (2) 自分の考えを深め、自らの成長を実感できるような指導法の工夫を行うことにより、道徳教育・情操教育の充実を図る。
- (3) 一人一人を大切にする生徒指導を推進するとともに、いじめ、不登校等の問題に対しては早期発見・即時、組織的な対応を行う。
- (4) 健康安全教育を推進し、体力向上や食に関する指導を充実させる。
- (5) 家庭や地域との連携、防災教育・防犯計画の充実等により、児童が安心して生活できる

学校づくりを進める。

- (6) よりよい人間関係づくりに努めるとともに、児童の自発的、自治的活動を推進する。
- (7) 教育的ニーズに基づいた「個別的教育支援計画」「個別の指導計画」を作成し、特別支援教育の充実を図るとともに、本人や保護者のニーズに合わせた「合理的な配慮」に努める。
- (8) 校内研究での実績を日々の授業づくりに生かし、指導法の工夫改善、年間指導計画の見直しなどを図る中で、教師の力量の向上に努める。
- (9) 学校からの積極的な情報発信と学校評価の推進により、情報の共有化に努め、社会に開かれた教育課程を編成し、地域の伝統を生かした各学年の教育活動の充実を図る。
- (10) 各教科、領域の学習活動において人とのかかわりを大切にするとともに、委員会活動や当番活動等において、自らの責任をはたすことの大切さを自覚させるなど、自立する力や望ましい勤労観をはぐくむ中で志教育を推進する。
- (11) コミュニティスクールとして地域と連携し、隣接する第五幼稚園との行事、唱歌に親しむ活動等の特色ある学校づくりを推進する。

5 特色ある教育活動等

◇ふるさと教育活動の推進（地域の人材「松五小おでっ隊」の積極的な活用）

- ・みどりの少年団活動の推進（総合的な学習：5年生の檀山体験や木工体験）
- ・郷土の偉人である、「どんぐりころころ」の作詞者：青木存義氏の業績を調べる学習及び歌い継ぐ活動
- ・花壇（花作り）、さつまいもやスイカづくり、菊作りなどの畑作活動
- ・地域住民との連携による郷土芸能等の活動
（品井沼太鼓、すずめ踊り、菱取り踊り、品井沼豊年踊り）

◇学校運営協議会（コミュニティスクール）を活用した学校づくりの推進

◇第五幼稚園（隣接）との協働行事（防災安全関係）や交流の連携強化

松島町立松島第五小学校校歌

作詞 山本 正
作曲 佐藤 長助

一
名にし負う 松島の北
往復する 汽笛の響き
生気あふるる この里に
めぐみゆたかに 生き生きと
集い楽しく 学ぶ幸

二
吉田川 うるおすところ
品井沼 干拓なりて
力合わせて 実となりし
みのりゆたかに はるばると
稲の穂波に 香る風

三
若竹の たわまぬ心
すこやかに 伸び行く生命
行くてはるかに 光あり
のぞみゆたかに すくすくと
文化の基 育くまん



7 中学校の概要

松島町立松島中学校



〒981-0215
松島町高城字三居山一6番地の1
TEL (022) 354-3309
FAX (022) 353-3474
開校記念日 4月16日



1 学区、学校の概要

松島町の中央部に位置する本校は、町内唯一の中学校であり、多くの町民にとって共通の思い出をもつ母校となっている。それゆえ、地域住民の本校に対する関心は高く、協力体制は強固である。

生徒は町内3つの小学校から入学し、徒歩・自転車・JR・バスなど様々な手段で通学している。元気な挨拶と先輩・後輩、男女の仲の良さなど好ましい校風が根付いている。卒業後は、地元の松島高校をはじめ、県内の高等学校に進学している。

活発な部活動は本校の大きな特色・伝統であり、運動部は東北・全国大会に出場を果たしている種目も多く、町民が世代を超えて交流する大切な場となっている。

東日本大震災では大きな被害を受け、伝統ある体育館（講堂）が全壊し撤去されたが、校舎や体育館の改修・新築が進み、学習環境が整っている。

2 学校経営の概要

I 学校教育目標

「自ら学び、心豊かに、たくましく生きぬく生徒の育成」
【遠き理想】【高き希望】【明き真理】【深き友愛】

(1) 自ら学ぶ生徒

- ①学習意欲の継続、学習課題の解決に向かう生徒
- ②自己評価能力を高める生徒
- ③個性の理解と伸長に努める生徒
- ④学んだことを生かし表現する生徒

(2) 思いやりと感謝の心を大切にする生徒

- ①明るいあいさつができる生徒
- ②進んで奉仕できる生徒
- ③互いに認め合うことができる生徒
- ④親や地域に感謝することができる生徒

(3) 健やかな心と体を大切にする生徒

- ①自ら生活習慣をつくり出せる生徒
- ②最後まで粘り強くやりとおす生徒
- ③素直に感動する心をもつ生徒
- ④進んで心と体を鍛える生徒



II 学校経営方針

第2期宮城県教育振興基本計画及び松島町教育方針を受け、本校生徒と地域の実態及び教訓である「遠き理想」「高き希望」「明き真理」「深き友愛」を踏まえ、よりよい校風の確立を目指して学校経営に当たる。

教育の成果を高め、地域や保護者の期待に応える信頼される学校とするため、教育目標「自ら学び、心豊かに、たくましく生きぬく生徒の育成」の具現化に向け、学校課題を明確にし、教職員の共通理解のもと、家庭・地域と連携を深めることを通して、教育活動を展開する。

そのためにも、教職員間の情報共有、共通行動を確実にし、次代を担う心豊かな生徒の育成に努める。さらには、世代の教育現場を担うであろうミドル（ネオ）リーダーの育成に努める。

Ⅲ 学校教育目標を達成するための重点施策

(1) 学ぶ力の育成

「学ぶ力」とは、「学び方を習得して、わかるまで、できるまで学ぶ力」並びに「自ら学びを楽しむ、自ら学びを深める力」と意味づけをし、問題解決の思考・判断力、問題解決の技術・自己表現力等の育成に努めるとともに、松島町「家庭学習の手引き（中学校版）」を活用して、学力の基盤をなす、各教科の基礎的・基本的な知識・技能である「学んだ力」、関心・意欲・態度の「学ぼうとする力」の育成に取り組む。

(2) 心の教育の充実

生徒理解を深め、道德の教科化や特別活動、生徒指導等、問題解決的な学習や体験的な学習などを通して、生徒一人一人が自己を見つめ、命を育む心や他者を思いやる心、正義感、倫理感、社会生活上のルールやマナーの育成に努めるとともに、社会体験や自然体験等の体験活動に取り組み、豊かな心とたくましい体を育み、生徒一人一人の自己実現を図る。



(3) 特別支援教育の推進

社会参加するために必要な力を培うために、生徒一人一人の教育的ニーズを把握し、その可能性を最大限に伸ばし、生活や学習上の困難を改善又は克服するため、全校的に支援体制を確立し、必要かつ適切な指導・支援に取り組む。

(4) 志教育の推進

21世紀をたくましく生き抜くための基盤として、将来の職業や学習との関わりを持たせた教育活動を推進していく中で、校内活動や地域との活動を通して、「人とのかかわる」「よりよい生き方を求める」「集団の一員としての役割や責任をはたす」生徒を育成する。

(5) 防災教育の推進

教職員が積極的に防災教育や防災管理にかかわりながら、災害発生時には学校防災マニュアルに基づき、生徒の安全確保に努めるとともに、身に付けさせたい5つの力と心を踏まえ、地域防災の将来の担い手となる生徒の育成に努める。

(6) 健康・安全教育の推進

教育活動全体の中で計画的・継続的な指導を通し、生涯にわたり運動に親しむ資質・能力を育てるとともに、健康・安全に生活できる実践力の育成や生活習慣の形成に努める。



(7) 現職教育の充実

教職員としての使命と責任を自覚し、豊かな人間性や社会性を養うとともに、学校運営、学年・学級経営、学習指導、生徒指導等の充実と教育課題（教授法、教育相談技術や特別支援教育等）の解決を図る実践的な指導力を高める研修を組織的・計画的に実施する。

(8) 学校運営協議会の設立

保護者や地域住民などの意向を学校運営に反映させ、社会の中でたくましく生きぬく生徒を育むために、学校・家庭・地域が協働した教育活動を推進する。また、きまりや約束を守り規範意識の高揚を図り、社会人としての教養を身に付けさせる。

松島町立松島中学校校歌

作詞 扇畑 忠雄
作曲 佐藤 長助

一 波のかがやく入海に

松青き島命あり
幸ゆたかなる漁り船
潮の光に遠き理想に
われら三年の春秋を
学ばん若き一筋に

二 沼を汲みほすいそしみ

撓まぬ力誇りあり
地平の霞む広き里
土の香りに高き希望に
われら三年の春秋を
進まん強き一筋に

三 丘を越えゆく古き國

みなぎる流れひびきあり
ここに育ちてたくましく
空の眞澄に赤き眞理に
われら三年の春秋を
努めん清き一筋に

8 学校給食センター

1 学校給食運営方針

(1) 学校給食の目的

学校給食は、園児や児童生徒の心身の健全な発達と食生活の改善を図り、栄養バランスの取れた食事の提供により、成長期にある児童生徒の健康の保持増進と体位の向上に寄与すると共に、子どもの頃から生活の基礎・基本を養い、望ましい食習慣の確立をねらいとする。

また、食育基本法の趣旨を踏まえ、「はやね、はやおき、あさごはん」の徹底を図り、児童生徒や先生とのふれあいの場として、食事の時間を通して、豊かな人間関係を作り、共同作業を通じて勤労の大切さや協調、感謝の心を養うことを目的とする。

(2) 栄養管理の充実

献立は、栄養・嗜好・経費・衛生・地域性・調理能力等総合的に考慮するとともに、栄養量については、国の「学校給食摂取基準」を踏まえ、常に献立の研究・調理方法の工夫をしながら学校給食の充実に努める。

(3) 食育の推進等

栄養士による授業や給食時間を利用した食生活の大切さや食事のマナーなどを伝える食育指導を実施する。また食に関わる産業に携わる生産者や食生活推進員等との交流事業を行うことで食への関心を高め、地場産物や地域の食文化、自然の恩恵に対する理解の推進に努める。

学校給食を通して、食のあり方や食をめぐる地域環境などに関心をもつ取組を行う。



(4) 環境衛生対策

「学校給食衛生管理基準」を遵守し、適切な衛生管理に努めることで、学校給食の安全性を確保する。

- ①手洗いの励行 ②感染症予防の保菌検査（腸内細菌検査・ノロウイルス抗原検査）
- ③健康観察 ④食品の購入・調理、その他の衛生管理 ⑤センター施設及び周辺環境整備

(5) 安全対策

調理員の調理従事中の安全確認、機械器具等の取扱いの指導徹底を行う。

(6) 関係機関

①学校給食センター運営審議会

学校長、保護者の代表、学校医、団体等の代表等で構成（委員10名）される審議会（1回／年）で、センターの状況を報告し、適切な学校給食のあり方などについて議論する。

②学校給食担当者会議

各学校の給食主任と学校給食センターが給食に関わる意見交換や連絡調整を行う。（2回／年）

(7) アレルギー等対応

アレルギー疾患の園児や児童生徒への対応として、給食の「全部」または「一部」のいずれかの停止について、保護者からの届出により、「牛乳のみ」や「すべての給食停止」等を行っている。アレルゲンの周知については、希望する方に、月ごとの詳細献立表（詳細成分を記載したもの）を配布している。

(8) 民間委託

松島町では、調理業務等を外部委託（民間）し、学校給食センターの経費削減及び効率的運営を実施している。

2 学校給食実施状況

(1) 年間給食実施回数と給食費の額

区 分	学 年	給食回数 (回)	1 食の単 価(円)	年額(円)	月 額 (円)	
					4月分	5月分～翌年2月分
幼稚園	年少	163	250	40,750	1,750	3,900×10回
	年中～年長	165	250	41,250	2,250	3,900×10回
小学校	1年～6年	177	265	46,905	2,905	4,400×10回
中学校	1年・2年	165	310	51,150	4,150	4,700×10回
	3年	153	310	47,430	3,430	4,400×10回

※五小は 175回 年額46,375円 4月分2,375 5月～翌年2月分は4,400×10回



生涯學習

1 生涯学習教育方針（「松島町教育振興基本計画」に基づく）

基本施策3：地域文化の継承と創造

『歴史と文化を継承し，文化遺産の保護と活用を図った教育の推進』

（1）歴史と文化と地域を学ぶ学習の推進

- ①地域との協働によるふるさと体験型教育の推進
- ②ふるさと松島の探究と新たな魅力の発見・発掘への取組
 - ・「松島まるごと学」の実践と充実
 - ・歴史資料等の調査や地域の埋もれた史跡の再発見及び調査成果活用の促進
- ③地域の魅力ある文化・伝統の伝承保存と内外への情報発信
 - ・日本遺産の周知と関連文化財群のさらなる活用
- ④特別名勝松島の景観及び歴史文化遺産の保全

基本施策4：生涯学習の推進

『協働による家庭教育，地域活動の推進』

（1）地域で支える家庭教育の推進

- ①公民館・分館事業における協働による地域活動の推進
 - ・各分館活動を中心とする地域活動の活性化
 - ・地域の伝承，史跡を知る研修活動
- ②自主サークル活動の発足と運営への支援
 - ・社会教育関係団体登録制度の導入に向けた検討
- ③地域に根ざした世代間交流や青少年健全育成活動への取組支援
 - ・ジュニア・リーダー育成と活動推進，にかほ市中学生とのリーダー交流
- ④心の通い合う「家庭づくり」の啓発と子育て支援の推進
- ⑤地域における子どもの社会性を育成する取組の実施
 - ・地域教育資源の発掘と情報の発信
 - ・放課後子ども教室の充実
- ⑥地域の協働による地域交流センター活用支援
- ⑦地域との協働による「防災キャンプ」の実施
- ⑧コミュニティー・スクールと連動した地域学校協働推進活動の推進組織の充実

（2）芸術文化活動の充実促進

- ①音楽や芸能等の芸術鑑賞，自主的な芸術活動の推進
 - ・民間のもつ技術や知識などを活用した文化観光交流館を拠点とする文化発信事業の実施
- ②公民館主催講座・教室の充実
- ③芸術文化展や演奏会などの開催
- ④自主サークルの学習活動への支援

- ⑤社会教育施設の整備と運用の充実
- ⑥図書室機能の充実と読書活動の推進
 - ・ボランティアによる読み聞かせや巡回図書活動の推進

(3) 国際感覚を培う生涯学習

- ①歴史・文化・景観をテーマとする異文化圏との交流活動の企画
- ②日本遺産など歴史や文化の国内外への情報発信と交流活動の推進
- ③児童生徒の国際交流や地域間交流の企画と実践
- ④2020年東京オリンピック・パラリンピック開催に向けた啓発

基本施策5：町民総スポーツの推進

『スポーツをとoshた町民の活力と地域の活性化』

(1) スポーツをとoshた地域・世代間交流の推進

- ①分館活動等地域の協働による身近なスポーツの普及推進
 - ・町民ふれあいスポーツ大会の開催
- ②スポーツによる他市町村との交流の企画・支援
- ③秋田県にかほ市等との各種スポーツ交流の推進

(2) 体力づくりの推進

- ①子どもの体力・運動能力向上の推進
- ②体力づくり推進の地域コーディネーターやボランティアの育成
- ③スポーツ施設の効果的な活用推進による町民の健康増進

(3) 観るスポーツの推進

- ①レベルの高いスポーツ大会の開催・招致
- ②一流アスリートの招致によるスポーツ教室の開催

(4) スポーツをとoshた心と体の健康

- ①高齢者向けスポーツ教室の検討及び実施
- ②ウォーキング等推進のための環境づくりの推進
- ③障がい者向けスポーツ教室の検討及び実施

2 生涯学習事業計画一覧

所管 項目	生涯学習班	中央公民館 (文化観光交流館・ 地域交流センター・ 勤労青少年ホーム)	文化観光交流館 ((株) B B I)	(NPO法人ウイザス)	B&G海洋センター (NPO法人マリソル松 島スポーツクラブ)	運動公園 (NPO法人マリソル松 島スポーツクラブ)	温水プール「美遊」 (セントラル・アーツ株式会 社)
(1)「生涯学習社 会」構築への 啓発	「松島の教育」の発 行、広報「まつし ま」、町HP、 Facebook等への掲載 生涯学習各種講座募 集	広報「まつしま」への 掲載 公民館教室・講座受 講生募集 ホームページの活用	広報「まつしま」への 掲載 独自のチラシ配布 ホームページの活用	広報「まつしま」への 掲載	広報「まつしま」への 掲載 独自のチラシ配布 ホームページの活用	広報「まつしま」への 掲載 独自のチラシ配布 ホームページの活用	広報「まつしま」への 掲載 独自のチラシ配布 ホームページの活用
(2) 民間指導者 の養成及び発 掘養成講座・ 派遣事業							水泳指導講習 介護予防運動指導員 養成講座 AED・心肺蘇生法講習
(3) 生涯学習の充実 ・歴史・文化教育	歴史・文化財出前講座 「松島まるごと学」 の推進 「歴史文化基本構 想」の周知 放課後子ども教室 こころ・はぐくみ隊 縄文土器づくり ジュニア・リーダー 育成事業 ジュニア・リーダー 初級研修会 松島防災キャンプ						
・青少年教育		親子工作教室、家族 ふれあい料理教室	ワイヤーアート、巻 きずし、消しゴムは んこ教室	わんぱくキャンプ	からだづくり運動	キッズサッカース クール テニススクール 幼稚園・保育所巡回 事業 バドミントンスク ール	児童スイミングス クール 児童体育スクール 児童短期水泳教室 着衣水泳教室
・成人教育		和綴じ本を作ろう、紙 粘土人形づくり、つま み細工を作ろう、そば 作り教室、陶芸体験教 室、手作り教室、パソ コン講座		森の味噌作り教室 森のそば打ち教室 キムチ作り教室		太極拳教室 テニス教室 レスリングスクール 水中運動教室	成人フィットネス ・フルタイム会員 (10:00～21:00) (7・8月9:00～21:00) ・ナイト会員 (17:00～21:00)
・高齢者教育					各地区スポーツ大会 への活動支援及び講 演会 バドミントンクラブ 太極拳教室 吹き矢教室 医学セミナー	太極拳教室 巡回吹き矢体験教室 スポーツ体験教室 水中運動教室	いきいき健康教室、 介護予防運動教室 転倒予防教室 口腔機能向上プログ ラム
・イベント大 会	松島湾三町文化財展 松島れきし再発見講 座	町民ふれあいスポー ツ大会 成人式	アトレ・る まつり アトレ・るワーク ショップDAY	松島の四季写真コン テスト 写真クラブ発表会	2019B&G宮城マリン スポーツフェスティバ ル 2019B&G宮城ウィン タースポーツフェス ティバル・バドミン トン大会・ベタンク 大会・ゲートボール 大会	マリンカップ・小学 生サッカー大会・中 学生サッカー大会・ シニアサッカー大会 町民テニス交流大会 グラウンド・ゴルフ 大会・中学1～2年 生バドミントン大会	
(4) 地域活動の 充実	子ども会育成連合会 青少年健全育成活動 協働教育の推進 ニュースポーツ普及 推進活動	地域交流センター事 業、分館活動、分館 長・主事・会計合同 研修会		ふるさとの森再生事 業		町内清掃活動	
・社会教育団 体の育成と 補助	女性団体連絡協議会 青少年健全育成松島 町民会議 子ども会育成連合会 松島町婦人会 松島町PTA連合会 小・中・高生徒指導 連絡協議会 松島町体育協会						
(5) 芸術文化の 振興 ・芸術鑑賞の 機会提供	宮城県巡回小劇場	文化観光交流祭、松 島子どもアート広場	二人会 アトレ・るカラオケ 大会	写真クラブ発表会			
・文化芸術団 体の育成と 補助	松島町芸術文化協会 ジョイントコンサ ート事業						
・文化財保護 体制の充実	指定文化財管理指導、 特別名勝松島現状変 更申請、埋蔵文化財包 蔵地発掘届提出に関 する調整						
・文化財の保 護と愛護	品井沼干拓資料館管理 文化財防火デー消防 演習 発掘調査・出土遺物 整理 西の浜貝塚史跡公園 管理 元禄溝穴管理 文化財パトロール事業						
(6) 社会教育行 政職員の充実 ・生涯教育行 政推進整備	社会教育委員、文化 財保護委員、スポー ツ推進委員						
・社会教育行 政職員の資 質向上	社会教育課長会議 社会教育委員研修会 社会教育担当者研修 会 協働教育研修会 社会教育主事研修会 生涯スポーツ担当者 研修会 スポーツ推進委員研 修会 文化財担当者研修会	公民館長・職員研修 二市三町公民館連合 会研修			B & G 海洋センター 連絡協議会研修事業		
(7) 社会教育施 設の充実	品井沼干拓資料館 西の浜貝塚史跡公園 B&G海洋センター（体 育館、屋外多目的運動 場） 松島運動公園（野球 場、テニスコート、 多目的運動広場、温 水プール） 町民グラウンド	文化観光交流館 地域交流センター 勤労青少年ホーム		町民の森センター ロッジ、円形広場、 炊事棟・キャンプ場			

3 生涯学習事業概要

～人と人、こころとこころのコミュニケーションネットワーク～

(1) 生涯学習班

名 称	内 容 ・ 目 的 等	対象	期日	備考
生涯学習情報案内	「松島の教育」発行と「広報まつしま」や町ホームページ、Facebook等に生涯学習情報を掲載(生涯学習班・文化観光交流館・スポーツ振興センター・野外活動センター・勤労青少年ホーム・地域交流センター)してお知らせします。	一般	通年	
「松島まるごと学」の推進	26年度に作成されたカリキュラムを基に、町内の学校全てに統一的な形で、松島の歴史文化を学ぶ場を提供します。	小学生～中学生	通年	
宮城県巡回小劇場	情操教育の一つとして町内の小学生に薰り高い芸術の鑑賞機会を設け、子どもたちの豊かな心を育みます。	小学生	10月8日	
ジュニア・リーダー初級研修会	子ども会活動の活性化をめざし、子ども会の直接的な指導にあたる地域のリーダーを育成します。	小学6年～中学生	3月20日 21日	
ジュニア・リーダー育成事業	子ども会の直接的な指導にあたるジュニア・リーダーの資質向上を図り、知識・技術・態度を養います。(二市三町の合同事業、中級・上級研修会への派遣、自主研修等)	中学生～高校生	通年	
中学生リーダー研修会への参加 (夫婦町交流事業)	夫婦町秋田県にかほ市の各中学校のリーダー研修会に参加し、リーダーとしての知識や活動を体験するとともに、相互の交流を深めます。	中学生	8月7日 8日	
松島防災キャンプ	関係団体、学校・地域と協働した防災キャンプを実施し、災害や被災時の対応の知識や技能を体験しながら学びます。	小学4年～中学生	8月中 (予定)	
「こころ・はぐくみ隊 Part18」	文化的遊びや創作を通じて、仲間集団における友人関係を築いたり、異年齢の友人と交流したりすることにより青少年の社会性を育み、思いやり、我慢強さ、責任感などの情操を高めます。	小学校 (低学年)	9月～ 12月 全4回講座	
放課後子ども教室	放課後等に子どもたちの安全・安心な活動拠点を設け、地域の方々の参画を得て、子どもたちの文化・スポーツ活動、地域住民との交流活動等を実施することにより、子どもたちが地域の中で、心豊かで健やかに育まれる環境づくりを推進します。	小学生	5月～ 3月	
縄文土器づくり	子ども達が様々な実体験を通して、地域のことや自然の中で必要な知識を学びます。 夏休みを利用して行うことで、普段とは違う親子や家族とのふれあいも期待できます。	小学生 親子	7月6日 8月3日	二市 三町 共催 事業
松島れきし再発見講座	松島の歴史や文化財について、専門家を講師に招いた公開講座や町歩きなどを実施して周知普及を図ります。また、イベントを通じて「松島町歴史文化基本構想」の周知を図ります。	一般	年2回	
歴史・文化財出前講座	松島の歴史や文化財について、学校や団体の要請に応じて、出前方式の講座を行います。	一般	通年	
文化財展示	松島町の歴史や文化財に関する展示を企画し、観瀾亭松島博物館・役場庁舎町民スペース・春日PA文化財展示室において実施します。 また、利府町・七ヶ浜町と連携して各町の所蔵資料を相互貸借・展示する「松島湾三町文化財展」を企画し、松島湾の歴史について情報発信を行います。	一般	通年	

(2) 中央公民館

○成人教育事業

名 称	内 容・目 的 等	対 象	期 日	備 考
和綴じ本を作ろう	日本古来の製本法を学習し、オリジナル手帳や手持ち資料綴りに役立ちます。	一般 20人	未定	
紙粘土人形づくり	自分だけの人形を作成し、和裁を生かした本物の着物を着用し、リアリティのある人形を作ります。	一般 20人	未定	
つまみ細工を作ろう	オリジナルのつまみ細工を作ります。	一般 20人	未定	

名 称	内 容	対 象	時 期
まつしま子どもアート広場	自由なテーマで児童に絵画作品を募集し、文化祭の時期に展示します。	町内小学生 幼稚園児 保育所幼児	展示期間： 11月2日（土） ～11月3日（日）

○大会・行事

名 称	内 容	対 象	期 日
第59回 町民ふれあい スポーツ大会	スポーツを通して、分館相互の親睦を深めると共にスポーツの楽しさを味わいます。	町民	6月2日（日）
2019文化観光交流まつり	サークル等の日頃の活動成果を一堂に会し、展示や舞台発表を行い、町民の芸術文化の発展向上を図ります。	町民一般 個人・団体	11月2日（土） ～ 11月3日（日）
第71回 松島町成人式	新成人の門出を祝います。	新成人：H11. 4. 2 ～H12. 4. 1生	令和2年 1月12日（日）

(3) 文化観光交流館【指定管理者（事業実施者）：(株)BBI】

自主事業名	内 容	対 象	期 日	料 金	使用施設
アトレ・るワーク ショップDAY	交流館を全館無料開放します。ワークショップ開催者を募集して、様々な体験をしていただきます。	子供～ 一般	5月5日（日）	無料	全館
アトレ・るまつり	ミニSL・フリーマーケット、模擬店など子どもにも楽しめるイベントを通して町民の交流を図ります。	子供～ 一般	7月28日（日）	有料	全館・ 駐車場
アトレ・るカラ オケ大会	子供から年配の方まで参加出来るカラオケ大会で、日頃のストレス発散と町民の交流を図ります。	子供～ 一般	11月17日（日）	有料	全館
二人会	六華亭遊花&ゲストを迎えて新春の初笑いを届けます。	子供～ 一般	1月26日（日）	有料	全館

ミニ講座	内 容	対 象	期 日	料 金	使用施設
消しゴムハンコ教室	オリジナルの自分ハンコを作ります。	子供～ 一般	6月16日（日）	材料費	会議室
ワイヤーアート	針金を使い、アート作品を作ります。	子供～ 一般	9月	材料費	会議室
巻きずし	ひな祭りにぴったりの巻きずしを親子で作ります。	子供～ 一般	2月	材料費	会議室・ 調理室

4) 松島東部地域交流センター

名 称	内 容	対 象	期 日	備 考
陶芸体験教室	世界でひとつだけの焼き物を作ります。	一般 15人	6月 8日 (土)	(共催) いちょうの会
そば作り教室	そばの打ち方を体験し、出来上がったそばを試食します。	一般 15人	10月19日 (土)	(共催) いちょうの会
手作り教室 (クリスマスお楽しみ料理)	クリスマス料理を手作りします。	一般 10人	12月 8日 (日)	(共催) いちょうの会

(5) 手樽地域交流センター

名 称	内 容	対 象	期 日	備 考
親子工作教室	親子で力を合わせてオリジナルの作品を作ります。	親子 10組	8月3日 (土)	全1回

(6) 勤労青少年ホーム

名 称	内 容	対 象	期 日	備 考
パソコン講座	パソコンの操作方法や文書作成, 表計算などの基礎を学びます。	一般	11月	
家族ふれあい親子クリスマスパン教室	トースターでパンを親子で力を合わせて作ります。	小学生の 親子15組	12月22日 (日)	

(7) 野外活動センター【指定管理者(事業実施者): NPO法人ウイザス】

名 称	内 容・目 的 等	対 象	期 日	備 考
松島の四季写真コンテスト(第13回)	松島の四季をテーマに風景, 風物, 催しなどの写真を全国から募集。松島の魅力を再発見してもらいます。	一般	平成31年 4月1日～ 令和2年2月	
麦のパン作り教室	自家製パン作りを応用した家庭料理を学びます。	一般	4月	
写真クラブ発表会	日頃の活動の成果を展示・発表します。	会員町民	11月上旬	
海彦・山彦わんぱくキャンプ森の四季体験教室	児童の自主性を尊重し, 子ども主体の宿泊体験。ツリークライミングや元禄潜穴などの史跡めぐり, 植林体験を通じて松島の自然と歴史を学びます。	小学3年生 ～ 中学2年生	7月	2泊3日
森の味噌作り教室	国産大豆を使い, 無添加の自家製味噌の作り方を学びます。	親子	9月	
森のそば打ち教室	新そば粉を使い, そば道の基本と応用を学び, 味わいます。	一般30人	11月	
キムチ作り教室	安全安心でおいしいキムチ作りを学びます。	一般	12月	

(8) B&G海洋センター 【指定管理者（事業実施者）：NP0法人マリソル松島スポーツクラブ】

名 称	内 容・目 的 等	対 象	期 日
2019B&G宮城 マリンスポーツ フェスティバル	宮城県内の各海洋センターから小学生が集い、カヌーやローボートの体験、水辺の安全教育等を行い、海洋性スポーツの普及を図るとともに水辺で安全に活動するための知識と技能を学びます。	小学4年生 ～ 小学6年生	8月2日（金）
2019B&G宮城 ウィンタースポーツ フェスティバル	宮城県内の各海洋センターから小学生が集い、雪遊びを通じて、参加者相互の交流と冬の運動不足の解消を図ります。	小学4年生 ～ 小学6年生	2月1日（土）
からだづくり運動	基本的な運動とボール遊びや鬼ごっこなどの運動遊びを通じて、体を動かすことの楽しさを教えながら、子どもたちの運動習慣へのきっかけづくりと体力・運動能力の向上を図ります。	幼稚園児・ 保育所幼児	6月～2月
バドミントンクラブ	一般成人から高齢者までを対象にバドミントンの楽しさと、仲間づくりの場として開催します。バドミントンを身近なスポーツとして、東京オリンピック開催にあわせて日頃の運動不足を解消し、心身ともに健康な体づくりを行います。	一般	月1回／通年
太極拳教室	一般社会人から高齢者世代に合わせて、日ごろ運動不足で汗をかくことや体を動かすことが少ない方々が少しでも元気で明るく・楽しく・いつまでも健康であることを願い、呼吸のリズムに合わせた無理のないそれぞれに合った運動場所を提供します。	一般	月2回／通年
未就学児リズム教室	子どもたちに運動の楽しさ、体を動かし汗を流す爽快感をエアロビクスダンスと軽運動などのリズムを使って体験してもらいます。	未就学児	2回／通年
吹き矢教室	精神力、集中力の向上と、吹き矢を通じて様々な世代と交流し仲間づくりを目的として開催します。誰でも、いつでも、どこでも手軽に楽しみながら、スポーツ吹き矢競技にもとづいた呼吸法により、健康増進を図ります。	一般	通年
医学セミナー	町内のスポーツ少年団や保護者、一般の方やスポーツ人口が年々増加している高齢者や障害者の方を対象に、スポーツトレーナー等による運動前のストレッチやケガの予防と、体幹トレーニング等について指導研修を行います。	一般	年1回
ペタンク大会	松島町ペタンク協会の協力をもらい、広く町内外に広報し多くの方に参加してもらい参加者の交流を図り、身近にできる競技スポーツの楽しさを普及します。	一般	年1回
ゲートボール大会	ゲートボール競技人口の支援を目的とし、一年を通じて楽しく、元気で、誰でも参加できる環境づくりを支援し、その一助として大会を開催します。	一般	年1回
施設紹介	インターネットを活用し、町民のみならず広く体育館・屋外多目的運動場・町民グラウンド等の施設を紹介し、観光地松島の地の利を活かし、観光業にも貢献できる施設としてPRし、施設の利用度を高める活動を随時実施します。	一般	適 時

（９）松島運動公園・温水プール「美遊」【指定管理者（事業実施者）：セントラルスポーツ株式会社】

名 称	内 容・目 的 等	対 象	期 日
①児童スイミング・体育スクール ②児童短期水泳教室 ③いきいき健康教室 ④着衣水泳教室	スポーツを通し自主性・社会性及び創造性が向上するように支援し、礼儀作法やマナーに関する目標を掲げながら社会性の習得を促していきます。また、心と身体の健康な発育を目指すと共に、より広い世界で活躍できる可能性も育みます。	児童・成人	①週1～2回 ②春期・夏期 ③週1回 ④夏期
①フルタイム会員 (10:00～21:00) ※ ②ナイト会員(17:00～21:00)	水泳の指導はもとより、水の特性を生かした水中ウォーキングレッスンや水中エアロビクス、目的別の各種ヨガ、ダンス、エアロビクスなどの人気プログラムも数多く実施し、生涯スポーツの普及に努めます。 ※①フルタイム会員 7・8月は9:00～21:00	成人	①各月 ②各月
①介護予防運動教室 ②転倒予防教室 ③口腔機能向上プログラム	リハビリや高齢者のトレーニングなど、専門のトレーナーが目的や体力レベルに応じたトレーニング法をアドバイスします。科学的に効果が立証されている運動を中心に、転倒予防・口腔機能向上・低栄養改善・尿失禁予防の講話等を楽しみ継続的にを行います。	シルバー	①6月～3月 ②③未定
①水泳指導員講習 ②介護予防運動指導員養成講座 ③AED・心肺蘇生法講習	地域スポーツの拠点として、「次世代を担う有能な人材育成」を目的に青少年の健全育成や生活習慣病の予防、高齢者には、介護予防・体力づくりに取り組むきっかけを作り幅広いスポーツ振興に努めます。 また、地域スポーツの発展と振興を目的に、スポーツ少年団やスポーツNP0の指導者等を対象とした各種講習会を企画します。	指導者向け	不定期

（１０）松島運動公園・多目的運動広場ほか【指定管理者（事業実施者）：NP0法人マリソル松島スポーツクラブ】

名 称	内 容・目 的 等	対 象	期 日
キッズサッカースクール	サッカーに興味を持っている子どもたちにボール遊びを通じた指導を行います。また、スクールを通して団体活動に必要な規律や協調性を育みます。	未就学児	毎週土曜日 ／通年
テニスクール	テニスボール（硬式ボール）やラケットに慣れることから始まり、基本動作に至るまで指導を行います。また、スクールを通して団体活動に必要な規律や協調性を育みます。	未就学児 ～小学生	毎週土曜日 ／通年
テニス教室	初心者・初級者・中級者・上級者の各クラスに分け、ショットの精度やゲームでの駆け引きなどを身につけさせるための指導を行います。	成人	クラス別（週1回 1クール8週7回）
幼稚園・保育所巡回指導 （スポーツ支援1）	運動の楽しさ、体を動かし汗を流す爽快感を体験するためにボール遊びや軽運動を行います。	未就学児	5回／年
太極拳教室	ゆっくりとした動作と呼吸法で、元気で明るく、楽しく、健康維持を図ります。	一 般	3回／月 （第1・2・3木曜日）
水中運動教室	足腰などの関節に負担が少ない水中で楽しく運動し、安全で効果的に健康づくりを行います。	一 般 高齢者	毎週金曜日／通年
松島町心の震災復興サッカー大会（ジュニア）	選手の技術を磨きあいながら交流を深め、豊かな人間性の育成に努めます。県内外の36チームでの開催で町内の宿泊施設を利用して実施します。	小学生	1回／年
松島町心の震災復興サッカー大会（ジュニアユース）	選手の技術を磨きあいながら交流を深め、豊かな人間性の育成に努めます。県内外の24チームでの開催で町内の宿泊施設を利用して実施します。	中学生	1回／年
シニアサッカー大会	生涯スポーツの推進と出場者相互の交流を図ります。県内外の14チームでの開催で町内の宿泊施設を利用して実施します。	シニア	1回／年
心の震災復興・障がい者就労支援GG大会	参加者相互の交流と障害者スポーツ支援・健康維持・増進、グラウンドゴルフの普及を図ります。	一 般	2回／年 （6月・9月）
スポーツ体験教室 （スポーツ支援2）	スポーツを通して、新しい仲間作りと体を動かすことの楽しさを体験します。幼稚園、保育所巡回運動教室。	未就学児（年長） ・小学1～2年生	1回／年
バドミントンスクール	初心者の基本動作から競技志向のレベルアップまで、目的や能力に応じた指導を行います。	小学生～中学生	毎週水曜日 ／通年
バドミントン大会	部活動やジュニアクラブ等に在籍する二市三町の中学1～2年生を対象に大会を実施し、出場選手同士の交流と競技のレベル向上を図ります。	中学1～2年生	1回／年
マリニック硬式テニス交流会	町内のテニス愛好会グループの協力を得て、中高年者を対象とした交流大会を実施します。	一 般	1回／年
施設紹介	インターネットを活用し、旅行者等に対してもテニスコートやグラウンドゴルフ場が整備されている事をPRするなど、施設の周知を図るため、広報事業を展開します。	一 般	適 時

4 町の文化財

種別・指定別文化財件数

(平成31年4月1日現在)

種 別		国	県	町	計
有形文化財	建造物	7	3	11	21
	絵画	2	6	24	32
	彫刻	1	1	20	22
	工芸品	1	3	15	19
	書跡・典籍・古文書	1		12	13
記念物	史跡	1		7	8
	名勝	1			1
	天然記念物		1	11	12
合 計		14	14	100	128



平成の大修理を終えた瑞巖寺本堂

指定別文化財一覧表

I 国 指 定

No.	種 別	名 称	員数	所 有 者	指 定 年 月 日
1	有形文化財 建造物	国宝・瑞巖寺本堂（附属御成玄関）	1棟	瑞 巖 寺	S28・3・31
2	〃 〃	国宝・瑞巖寺庫裏及び廊下	2棟	〃	S34・6・27
3	〃 〃	重文・瑞巖寺御成門	1棟	〃	S31・6・28
4	〃 〃	重文・瑞巖寺中門	1棟	〃	S31・6・28
5	〃 〃	重文・瑞巖寺五大堂	1棟	〃	S37・6・21
6	〃 〃	重文・円通院御霊屋	1棟	圓 通 院	S60・5・18
7	〃 〃	重文・陽徳院霊屋	1棟	瑞 巖 寺	H24・7・9
8	〃 絵 画	重文・観瀾亭障壁画	21面	松 島 町	S55・6・6
9	〃 〃	重文・瑞巖寺本堂障壁画	161面	瑞 巖 寺	S55・6・6
10	〃 工芸品	重 文 ・ 雲 版	1面	〃	S30・2・2
11	〃 書 跡	重文・奥州御島頼賢碑	1基	〃	S30・6・22
12	〃 彫 刻	重文・木造五大明王像	5軀	〃	H7・6・15
13	記念物 名 勝	特別名勝・松 島	—	—	S27・11・22
14	〃 史 跡	史 跡 ・ 西 の 浜 貝 塚	—	松 島 町	S49・7・2

II 県 指 定

No.	種 別	名 称	員数	所 有 者	指 定 年 月 日
1	有形文化財 建造物	観 瀾 亭	1棟	松 島 町	S28・3・3
2	〃 〃	日 吉 山 王 神 社 本 殿	1棟	日吉山王神社	S46・3・2
3	〃 〃	瑞 巖 寺 総 門	1棟	瑞 巖 寺	S55・8・1
4	〃 絵 画	仏 涅槃 槃 図	1幅	〃	H2・4・27
5	〃 〃	釈 迦 説 法 図	1幅	〃	H2・4・27
6	〃 〃	法 身 性 西 像	1幅	〃	H2・4・27
7	〃 〃	蘭 溪 道 隆 像	1幅	〃	H2・4・27
8	〃 〃	明 極 聡 愚 像	1幅	〃	H2・4・27
9	〃 〃	仙台城本丸大広間障壁画（鳳凰図）	1隻	松 島 町	H5・12・24
10	〃 工芸品	脇 差	1口	瑞 巖 寺	S51・3・29
11	〃 〃	梵 鐘	1口	大 仰 寺	S36・4・1

No.	種 別	名 称	員数	所 有 者	指 定 年 月 日
12	有形文化財 工芸品	銅 鐘	1口	瑞 巖 寺	S37・6・28
13	彫 刻	木 造 伊 達 政 宗 倚 像	1軀	〃	H2・4・27
14	記念物 天然記念物	瑞巖寺の臥龍梅（紅白）	2本	〃	H9・5・9

Ⅲ 町 指 定

No.	種 別	名 称	員数	所 有 者	指 定 年 月 日
1	有形文化財 建造物	圓 通 院 山 門	1棟	圓 通 院	S45・10・1
2	〃	初 原 天 神 社 厨 子	1棟	天 神 社	S45・10・1
3	〃	陽 徳 院 山 門	1棟	瑞 巖 寺	S45・10・1
4	〃	圓 通 院 本 堂 大 悲 亭	1棟	圓 通 院	S47・6・27
5	〃	水 主 町 の 民 家	1棟	瑞 巖 寺	S47・6・27
6	〃	解 脱 院	1棟	〃	S47・6・27
7	〃	三 聖 堂	1棟	〃	S53・7・15
8	〃	富 山 観 音 堂	1棟	大 仰 寺	H21・8・3
9	〃	富 山 仁 王 門	1棟	〃	H21・8・3
10	〃	観月楼（附旅籠としての記録類）	1棟	（株）大宮司	H25・4・24
11	〃	富 山 大 仰 寺 本 堂	1棟	大 仰 寺	H27・2・1
12	絵 画	松 島 真 景 図	1幅	松 島 町	S45・10・1
13	〃	伊 達 政 宗 像	1幅	瑞 巖 寺	H2・4・6
14	〃	伊 達 忠 宗 像	1幅	〃	H2・4・6
15	〃	伊 達 綱 宗 像	1幅	〃	H2・4・6
16	〃	伊 達 綱 村 像	1幅	〃	H2・4・6
17	〃	伊 達 吉 村 像	1幅	〃	H2・4・6
18	〃	伊 達 宗 村 像	1幅	〃	H2・4・6
19	〃	伊 達 重 村 像	1幅	〃	H2・4・6
20	〃	伊 達 斉 村 像	1幅	〃	H2・4・6
21	〃	伊 達 周 宗 像	1幅	〃	H2・4・6
22	〃	伊 達 斉 宗 像	1幅	〃	H2・4・6
23	〃	伊 達 斉 義 像	1幅	〃	H2・4・6
24	〃	伊 達 斉 邦 像	1幅	〃	H2・4・6
25	〃	伊 達 光 宗 像	1幅	〃	H2・4・6
26	〃	天 麟 院 五 郎 八 姫 像	1幅	〃	H2・4・6

No.	種 別	名 称	員数	所 有 者	指 定 年 月 日
27	有形文化財 絵 画	雲 居 希 膺 像	1幅	瑞 巖 寺	H 2・4・6
28	〃 〃	洞 水 東 初 像	1幅	〃	H 2・4・6
29	〃 〃	夢 庵 如 幻 像	1幅	〃	H 2・4・6
30	〃 〃	出山釈迦・猪頭和尚・蜆子和尚図	3幅	〃	H 2・4・6
31	〃 〃	白 衣 観 音 図	1幅	〃	H 2・4・6
32	〃 〃	絵 馬	2面	〃	H 2・4・6
33	〃 〃	陽 徳 院 田 村 氏 像	1幅	〃	H 2・4・6
34	〃 〃	大仰寺開山洞水禅師画像	1幅	大 仰 寺	H 7・9・29
35	〃 〃	仙 台 領 内 絵 図	1幅	個 人	H 7・9・29
36	〃 彫 刻	木 造 聖 観 音 立 像	1軀	瑞 巖 寺	S 45・10・1
37	〃 〃	聖 観 世 音 菩 薩 坐 像	1軀	圓 通 院	S 47・6・27
38	〃 〃	釈 迦 如 来 坐 像	1軀	天 麟 院	S 47・6・27
39	〃 〃	地 蔵 菩 薩 半 迦 像	1軀	瑞 巖 寺	S 47・6・27
40	〃 〃	陽 徳 院 田 村 氏 像	1軀	〃	H 2・4・6
41	〃 〃	天 麟 院 五 郎 八 姫 像	1軀	〃	H 2・4・6
42	〃 〃	神 馬 像	1軀	日 吉 山 王 神 社	H 7・9・29
43	〃 〃	狛 犬 像	2軀	〃	H 7・9・29
44	〃 〃	古 面 (猿 面)	3面	〃	H 7・9・29
45	〃 〃	三 猿 像	3軀	〃	H 7・9・29
46	〃 〃	薬 師 如 来 坐 像	1軀	〃	H 7・9・29
47	〃 〃	地 蔵 菩 薩 立 像	1軀	〃	H 7・9・29
48	〃 〃	法 身 性 西 倚 像	1軀	瑞 巖 寺	H 22・3・29
49	〃 〃	雲 居 希 膺 倚 像	1軀	〃	H 22・3・29
50	〃 〃	洞 水 東 初 倚 像	1軀	〃	H 22・3・29
51	〃 〃	木造不動明王立像二童子像	3軀	〃	H 22・3・29
52	〃 〃	坂 上 田 村 麻 呂 像	1軀	大 仰 寺	H 25・4・1
53	〃 〃	伊 達 光 宗 騎 馬 像 及 び 神将形立像・千手観音像	9軀	圓 通 院	H 25・4・1
54	〃 〃	富 山 観 音 仁 王 像	1対	大 仰 寺	H 26・5・1
55	〃 〃	虚 空 蔵 菩 薩 坐 像	1軀	〃	H 27・2・1
56	〃 工 芸 品	殿 鐘	1口	瑞 巖 寺	H 2・4・6

No.	種 別	名 称	員数	所 有 者	指 定 年 月 日
57	有形文化財 工芸品	水 晶 五 輪 仏 舎 利 塔	1基	瑞 巖 寺	H 2 ・ 4 ・ 6
58	〃 〃	唐 銅 製 多 宝 塔	1基	〃	H 2 ・ 4 ・ 6
59	〃 〃	火 鈴	1口	〃	H 2 ・ 4 ・ 6
60	〃 〃	孔 雀 丸 船 額	1点	〃	H 2 ・ 4 ・ 6
61	〃 〃	禾 目 天 目 茶 碗	1口	〃	H 2 ・ 4 ・ 6
62	〃 〃	赤 楽 茶 碗	1口	〃	H 2 ・ 4 ・ 6
63	〃 〃	御 本 茶 碗	1口	〃	H 2 ・ 4 ・ 6
64	〃 〃	茶 碗	1口	〃	H 2 ・ 4 ・ 6
65	〃 〃	葉 茶 壺	1口	〃	H 2 ・ 4 ・ 6
66	〃 〃	金 欄 付 浅 葱 色 麻 袈 裟	1肩	〃	H 2 ・ 4 ・ 6
67	〃 〃	紫 衣	1領	〃	H 2 ・ 4 ・ 6
68	〃 〃	鉄 如 意	1握	〃	H 2 ・ 4 ・ 6
69	〃 〃	伊 達 家 歴 代 藩 主 位 牌	12基	〃	H 2 ・ 4 ・ 6
70	〃 〃	磯 崎 の 契 約 講 一 式	130点	磯 崎 緑 松 会	H 7 ・ 9 ・ 29
71	〃 書跡・典籍・古文書	雲 居 希 膺 墨 跡	27幅	瑞 巖 寺	H 2 ・ 4 ・ 6
72	〃 〃	往 生 要 歌 板 木 一 組	5枚	〃	H 2 ・ 4 ・ 6
73	〃 〃	松島円福寺寺領同寺用米証状注文外	2幅	〃	H 2 ・ 4 ・ 6
74	〃 〃	伊 達 政 宗 和 歌 懷 紙	1幅	〃	H 2 ・ 4 ・ 6
75	〃 〃	留 守 政 景 所 役 免 除 状	1幅	〃	H 2 ・ 4 ・ 6
76	〃 〃	天 台 由 緒 記	1卷	〃	H 2 ・ 4 ・ 6
77	〃 〃	龍 山 三 開 祖 伝	1冊	〃	H 2 ・ 4 ・ 6
78	〃 〃	松 島 諸 勝 記	1冊	〃	H 2 ・ 4 ・ 6
79	〃 〃	慈 光 不 昧 禅 師 号 綸 旨	1幅	〃	H 2 ・ 4 ・ 6
80	〃 〃	大 悲 円 満 国 師 号 宸 翰	1幅	〃	H 2 ・ 4 ・ 6
81	〃 〃	御 船 歌 集	1冊	〃	H 7 ・ 9 ・ 29
82	〃 〃	松 島 御 仮 屋 守 文 書	3冊	〃	H10・12・25
83	記念物 史 跡	文 永 紀 年 の 供 養 塔	1基	不 詳	H 7 ・ 9 ・ 29
84	〃 〃	覚満禅師墓碑「附・防火石」	1基	圓 通 院	H 7 ・ 9 ・ 29
85	〃 〃	圓 通 院 洞 窟	7基	〃	S 47 ・ 6 ・ 27
86	〃 〃	天 麟 院 洞 窟	5基	天 麟 院	S 47 ・ 6 ・ 27
87	〃 〃	松 島 明 神 跡	一	紫 神 社	S 53 ・ 7 ・ 15

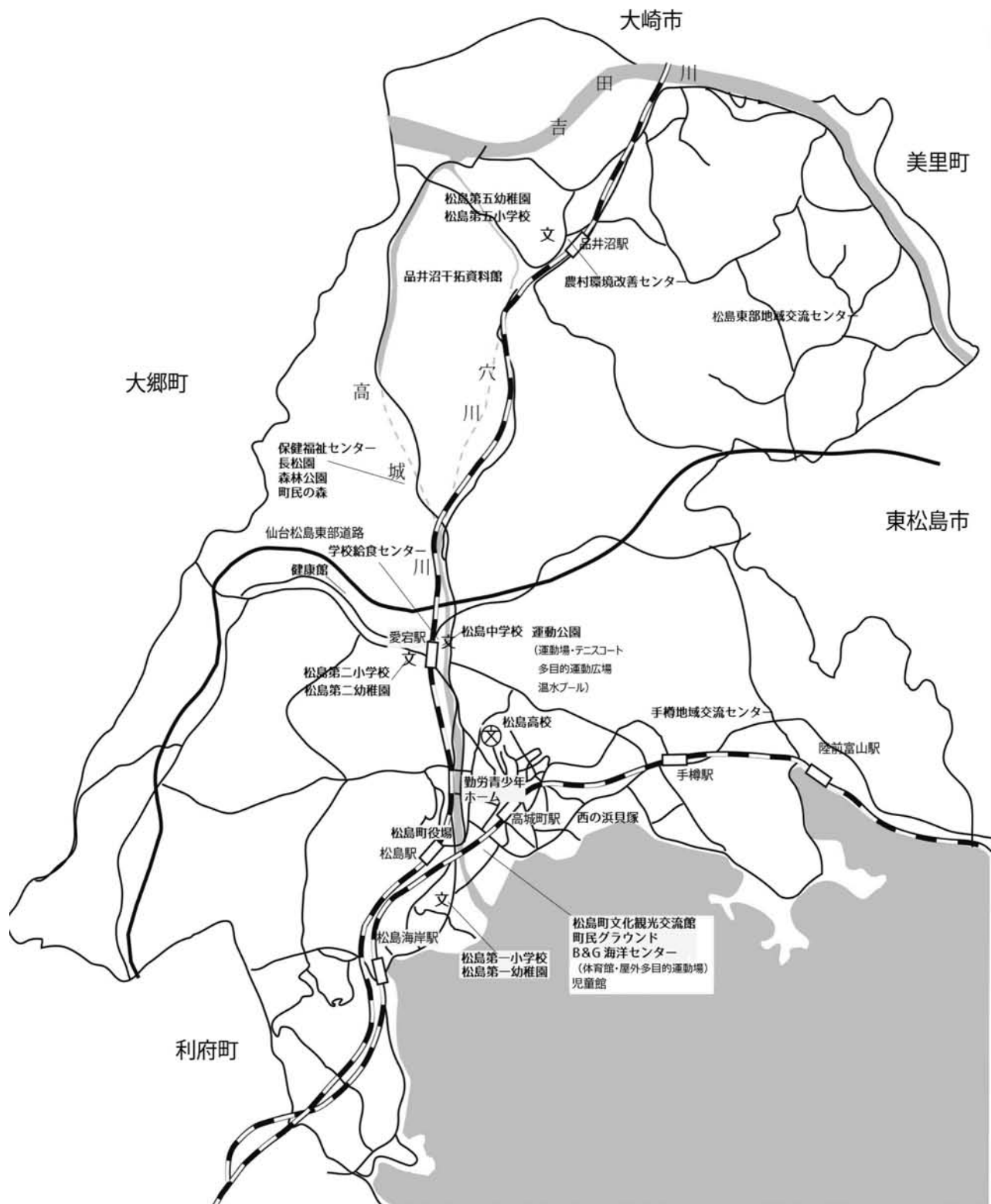
No.	種 別	名 称	員数	所 有 者	指定年月日
88	記念物 史 跡	品 井 沼 潜 穴	—	松 島 町	S53・7・15
89	〃 〃	西 行 戻 し の 松	—	〃	H29・3・1
90 ～93	〃 天然記念物	瑞 巖 寺 老 杉	4本	瑞 巖 寺	S45・12・1
94	〃 〃	陽 徳 院 ・ 高 野 ま き	1本	〃	S45・12・1
95	〃 〃	天 麟 院 ・ は り も み	1本	天 麟 院	S45・12・1
96	〃 〃	富 山 ・ 杉	1本	大 仰 寺	S45・12・1
97	〃 〃	扇 谷 ・ 混 合 雑 木 林	3.7a	宮 城 県	S45・12・1
98	〃 〃	い ぶ き び ゃ く し ん	1本	個 人	S45・12・1
99	〃 〃	蒜 沢 阿 弥 陀 堂 境 内 ・ 銀 杏	1本	個 人	S45・12・1
100	〃 〃	松 島 せ っ こ く	—	瑞 巖 寺 他	H7・9・29



富山大仰寺本堂（町指定）

生涯學習施設

1. 松島町の生涯学習関係施設位置図



2. 生涯学習施設の概況

松島町文化観光交流館

平成25年9月開館（平成27年10月より指定管理施設として運営）



施設名称	内容・利用時間	利用方法・内容・使用料他	休館日
文化観光交流館 （アトレ・るHall） （指定管理者：（株） BBI） 磯崎字浜1の2 TEL 022-355-0155 中央公民館 TEL 022-353-3030	中央公民館併設 和室（第1・2） 会議室（第1・2） 調理室 研修室 リハーサル室 展示コーナー 講座室（第1・2） クラブ室 楽屋（1・2） 大ホール 利用時間 ・午前9時～午後9時 ※大ホールは午前9時～午後10時	・利用の申請は、使用したい日の3ヶ月前から7日前まで受け付けします。 ・社会教育団体や芸術文化団体等が本来の目的に利用する場合は使用料が免除されます。 ・入場者から入場料等の料金を収める場合や営利を目的とした利用については、使用料が割増となります。	月曜日（国民の祝日に関する法律に規定する休日に当たるときは当該休日の翌日） 年末年始 12月29日から翌年1月3日まで

観光インフォメーションルーム→



大ホール



会議室→

平成6年6月開所（平成18年4月より指定管理施設として運営）



← センター ロツジ

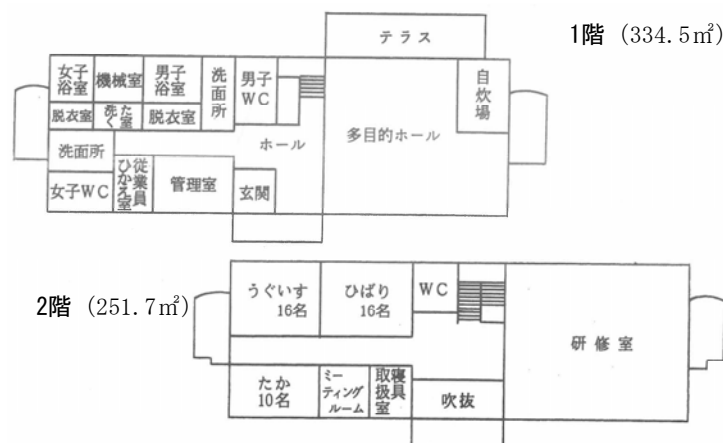


→炊事棟・キャンプ場



← キャンプファイアー広場

センターロジック平面図



施 設 名 称	内 容 ・ 利 用 時 間	利 用 方 法 ・ 内 容 ・ 使 用 料 他	休 館 日
野外活動センター（町民の森） （指定管理者： NPO法人ウイザス）	・ センターロッジ 586㎡ 宿泊室 4室 45人 研修室 120㎡ 多目的ホール 90㎡ 炊事場 30㎡	・ ロッジは15人以上の社会教育団体等が利用できます。 ・ 利用の申請期間は利用したい日の3ヶ月前から7日前までです。	年末年始 12月29日から 翌年1月3日まで
根廻字上山王6番地の1 TEL 022-353-3910	・ キャンプ場 （大人110人以上泊可能） キャンプサイト 持ち込み用テントサイト 18張り分 ・ 炊事棟 53㎡ （かまど10戸、流し、テーブル） ファイアーサークル1 201㎡	・ 暖房器具、寝具クリーニング代他、一部費用は実費相当分を負担してください。 ・ 利用者の計画により自炊ができます。この場合炊飯用具は貸与致します。 ・ 起床、入浴、就寝時間その他は施設のきまりにしたがってください。 ・ 駐車場（2,560㎡）は普通車100台程度収容可能です。 ・ 利用手続きは、野外活動センターへ（TEL022-353-3910）	

松島運動公園



多目的運動広場



野球場



25m 温水プール

施設名称	内容・利用時間	利用方法・内容	休館日
松島運動公園 (指定管理者：NPO法人マリソル松島スポーツクラブ) 高城字動伝一34番地の1 TEL 022-781-6320 022-781-6321	管理事務所(平成9年2月開館) 鉄筋コンクリート造 311.50㎡(延べ面積) 木造平屋建 140㎡ ・レストスペースホール ・ミーティングルーム ・更衣室 男子/女子(コイン式シャワー付)	・利用者は、「利用許可申請書(注1)」を提出してください。 受付は利用したい日の2ヶ月前から行っています。 (電話で仮予約可) (注1)申請書は、マリソルHPからダウンロードできます。	年末年始 12月28日から 翌年1月4日まで
	野球場(平成5年4月開園) 午前9時～日没まで ・両翼 91m ・センター 119m ・収容人員 1,300人 ・面積 12,500㎡	・利用者は、「利用許可申請書」を提出して下さい。受付は利用したい日の2ヶ月前から行っています。(電話で仮予約可) ・天候条件及び施設メンテナンスにより利用を制限することがあります。	
	多目的運動広場(平成8年6月開園) 午前9時～日没まで ・人工芝(全面)・・・平成26年改修 サッカー、フットサル等の試合が可能 ・盛土スタンド 芝スタンド 収容人員 520人程度 ・山側スタンド 山側の斜面を利用した芝スタンド ・面積 19,500㎡	・利用者は、「利用許可申請書」を提出して下さい。 受付は利用したい日の2ヶ月前から行っています。(電話で仮予約可) ・天候条件及び施設メンテナンスにより利用を制限することがあります。	
	テニスコート(平成10年10月開園) 午前9時～午後9時 (受付/午前8時半から午後5時まで) ・砂入り人工芝 4コート ・夜間照明 2コート ・面積 2,728㎡	・当日利用は、午前9時から午後9時までとし、午後5時から午後9時までの利用については、午後5時までの予約が必要となります。天候条件により利用を制限することもあります。	
松島温水プール (指定管理者：セントラルスポーツ株式会社) 高城字動伝一34番地の1 TEL 022-353-8525 FAX 022-353-8526	温水プール (平成19年10月6日開館) 25mスロープ付プール 水深1.05m～1.25m 規格縦25m×13.01m 歩行用流水プール 水深1.0m 規格一周39.71m×幅2m 子供プール 水深0.05m～0.55m 面積62.43㎡ ・トレーニングジム 面積96㎡ ・シルバートレーニングルーム 面積96㎡ ・スタジオ 面積125.23㎡	○開館時間 午前10時～午後9時 (但し7、8月は午前9時～午後9時) ○利用方法 個人利用者は、受付で利用手続きを行ってから、入場して下さい。プールコース貸切やスタジオを利用する際は、受付で利用状況を確認のうえ、事前に利用手続きを行ってください。 ○トレーニングジム利用方法 利用する場合は、事前にトレーニング講習会を受講し、以後、受付で利用手続きを行ったうえで利用できます。なお利用できるのは、高校生以上です。 ○入場の際して おむつの取れていない乳幼児のプール利用はできません。 未就学児がプールを利用する際には、保護者の付添が必要です。 ※中学生以下の子どもだけで利用できる時間は午後5時までです。 (7、8月のみ午後6時まで)	毎週月曜日(月曜日が祝日の際は、開館し次の日が休館となります) 年末年始 12月28日から 翌年1月4日まで その他 プールメンテナンス期間

B & G 海 洋 セ ン タ ー (平成30年4月より指定管理施設として運営)



施 設 名 称		内 容 ・ 利 用 時 間	利 用 方 法 ・ 内 容	休 館 日
B&G海洋センター (指定管理者：NP 0法人マリソル松 島スポーツクラ ブ) 高城字浜1番地 の1 TEL 022-353-3688 FAX 022-353-3713	体育館 (昭和58年 5月開館)	・体育館 726㎡ ・会議室 63㎡ ・午前9時～午後9時	・毎月第3日曜日は「健康づくり の日」として無料で利用できま す。 ・原則、毎週土曜日は小・中学生 無料開放を実施しています。 ・利用の詳細については、お問い 合わせください。 ・体育館では、卓球・バレーボー ル・バウンドテニス・ミニバス ケットボール・バドミントン等 が楽しめ、必要器具・用具も利 用できます。 ・屋外多目的運動場ではゲートボ ールや雨天時等における軽スポ ーツ場として利用できます。	年末年始 12月29日から 翌年1月3日まで
	屋 外 多目的 運動場 (平成27年 3月開所)	・屋根付コート 1面 ・屋根無しコート1面 ・午前9時～午後9時		

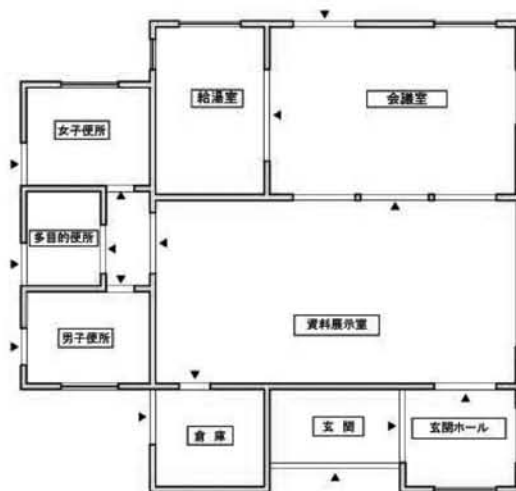
松 島 町 民 グ ラ ウ ン ド

昭和56年9月開所

(平成30年4月より指定管理施設として運営)



施 設 名 称	内 容 ・ 利 用 時 間	利 用 方 法 ・ 内 容	休 日
松島町民 グラウンド (指定管理者：N P0法人マリソル 松島スポーツク ラブ) 磯崎字浜地内 TEL 022-353-3688 FAX 022-353-3713	面積／14,178㎡ 照明(夜間)／8基 ・午前 午前6時～正午 ・午後 正午～午後5時 ・夜間 午後5時～午後9時 ・全日 午前6時～午後5時	・利用の申請は利用しようとする3 ヵ月前から7日前まで申請書を提 出していただきます。	国民の祝日に関する 法律に規定する休日 の翌日 年末年始 12月29日から 翌年1月3日まで



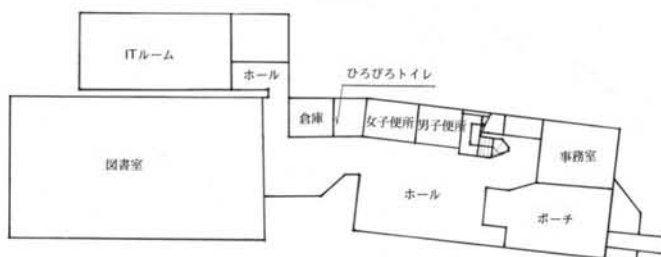
施設名称	内容・利用時間	利用方法・内容・料金他	休館日
品井沼干拓資料館 幡谷字明神52番地1 □お問い合わせ 教育課生涯学習班 TEL 022-354-5714	□資料館利用時間 午前9時～午後9時 ・会議室 33㎡ ・資料展示室 54㎡ ・給湯室 ・男・女トイレ ・多目的トイレ	□利用するには 教育委員会に使用したい日時をご連絡いただき、品井沼干拓資料館利用許可申請書を提出していただきます。 □利用料金等 資料館の入館料は、無料です。ただし、会議室を利用する場合は、次の料金を徴収します。 ・利用時間金額 最初の2時間まで400円 (超過時間1時間ごとに200円) ※備考 1 利用時間が上記の時間に満たない場合においても、利用料金の減額は行いません。 2 利用に係る暖房料等の実費相当分の料金については、次に掲げる額を徴収します。 ・暖房料1時間当たり 100円 ・ガス代1回利用につき 100円 ※減免については教育委員会へお問い合わせください。	年末年始 12月29日から 翌年1月3日まで

松島町勤労青少年ホーム

昭和60年4月開所



1 階平面図



2 階平面図



施設名称	内容・利用時間	利用方法・内容	休館日																								
松島町勤労 青少年ホー ム 高城字町71 番地 TEL 022-354-4036	集会室 58㎡ 講座室（和室）24㎡ 音楽室 51㎡ 調理室 38㎡ ITルーム 70㎡ 火曜日～日曜日 午前9時～午後9時	・利用したい方は、使用申請書を提出してください。 （但し有料） 【ITルーム】 ・窓口で申請手続きをし、利用して下さい。 【図書室】 ・松島町図書室利用証の申込み手続きをしてください。 免許証等、身元を証明できるものを提出してください。 小学生以下は、保護者同伴のうえ、手続きしてください。 1人5冊まで、2週間貸出となります。	毎週月曜日 （ただし、そ の日が国民の 祝日に関する 法律に規定す る休日に当た るときは、当 該休日以降の 直近の休日で ない日とする） 年末年始 12月29日から 翌年1月3日まで																								
	図書室 216㎡ 火曜日～金曜日 午前10時～午後6時 土曜日、日曜日、祝 日 午前10時～午後4時			<table><tr><th>区分</th><th>午 前</th><th>午 後</th><th>夜 間</th></tr><tr><th>室名</th><th>9時～13時</th><th>13時～17時</th><th>17時～21時</th></tr><tr><td>集会室</td><td rowspan="4">600円</td><td rowspan="4">600円</td><td rowspan="4">800円</td></tr><tr><td>講座室（和室）</td></tr><tr><td>音楽室</td></tr><tr><td>調理室</td></tr></table> ※暖房及びガスの利用は実費徴収 <table><tr><th>利用時間</th><th>2時間</th></tr><tr><th>利用区分</th><th></th></tr><tr><td rowspan="3">ITルーム（端末1 台利用につき）</td><td>小・中学生</td><td>100円</td></tr><tr><td>高校生・大学</td><td>200円</td></tr><tr><td>一般</td><td>300円</td></tr></table>	区分	午 前	午 後	夜 間	室名	9時～13時	13時～17時	17時～21時	集会室	600円	600円	800円	講座室（和室）	音楽室	調理室	利用時間	2時間	利用区分		ITルーム（端末1 台利用につき）	小・中学生	100円	高校生・大学
区分	午 前	午 後	夜 間																								
室名	9時～13時	13時～17時	17時～21時																								
集会室	600円	600円	800円																								
講座室（和室）																											
音楽室																											
調理室																											
利用時間	2時間																										
利用区分																											
ITルーム（端末1 台利用につき）	小・中学生	100円																									
	高校生・大学	200円																									
	一般	300円																									

手樽地域交流センター

平成21年8月開所



施設名称	内容・利用時間	利用方法・内容	休館日
手樽地域交流センター 手樽字釜地前1番地1 TEL 022-354-2041	○センター施設 ・研修室1 ・研修室3 ・図書室 ・調理室 ○施設利用時間 (センター施設) 午前9時～午後9時 (屋外運動場) 午前5時～午後7時	○利用方法 利用申請については使用希望日時を松島町文化観光交流館に連絡し、利用許可申請書を提出してください。 ○利用料金(センター施設) 午前9時～午後5時 1時間150円 午後5時～午後9時 1時間200円 ※暖房料等実費分徴収 (屋外運動場) 利用料 1時間 町内の者 無料 町外の者 700円 ※減免については中央公民館までお問い合わせください。	年末年始 12月29日から 翌年1月3日まで
	○松島子どもの心のケアハウス「もみの木教室」	○利用方法等については教育課学校教育班までお問い合わせください。	

松島東部地域交流センター

平成21年8月開所



施設名称	内容・利用時間	利用方法・内容	休館日																						
松島東部地域交流センター 竹谷字蔦ヶ沢7番地2	○センター施設 ・研修室1 ・研修室3 ・ミーティングルーム ・屋内運動場 ・多目的交流室 ・調理室 ○屋内運動場 ・競技場 ・ミーティングルーム ○屋外運動場 ○施設利用時間 (センター施設・屋内運動場) 午前9時～午後9時 (屋外運動場) 午前5時～午後7時	○利用方法 利用申請については使用希望日時を松島町文化観光交流館に連絡し、利用許可申請書を提出してください。 ○利用料金(センター施設) 午前9時～午後5時 1時間150円 午後5時～午後9時 1時間200円 ※暖房料等実費分徴収 ○利用料金(屋内運動場) <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">室名</th><th colspan="2">利用時間・利用料</th></tr> <tr> <th colspan="2"></th><th>午前9時～午後5時</th><th>午後5時～午後9時</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">競技場</td><td>スポーツで利用</td><td>1時間 600円</td><td>1時間 900円</td></tr> <tr> <td>その他の催しで利用</td><td>1時間 3,500円</td><td>1時間 5,600円</td></tr> <tr> <td>営利目的で利用</td><td>1時間 8,800円</td><td>1時間 14,100円</td></tr> <tr> <td colspan="2">ミーティングルーム</td><td>1時間 150円</td><td>1時間 200円</td></tr> </tbody> </table> ○利用料金(屋外運動場) 利用時間 午前5時～午後7時 利用料 1時間 町内の者 無料 町外の者 700円 ※減免については中央公民館までお問い合わせください。	室名		利用時間・利用料				午前9時～午後5時	午後5時～午後9時	競技場	スポーツで利用	1時間 600円	1時間 900円	その他の催しで利用	1時間 3,500円	1時間 5,600円	営利目的で利用	1時間 8,800円	1時間 14,100円	ミーティングルーム		1時間 150円	1時間 200円	年末年始 12月29日から 翌年1月3日まで
室名		利用時間・利用料																							
		午前9時～午後5時	午後5時～午後9時																						
競技場	スポーツで利用	1時間 600円	1時間 900円																						
	その他の催しで利用	1時間 3,500円	1時間 5,600円																						
	営利目的で利用	1時間 8,800円	1時間 14,100円																						
ミーティングルーム		1時間 150円	1時間 200円																						

3. 平成30年度生涯学習施設の利用状況

(1) 月別利用状況(全体)

施設 月	文化観光 交 流 館	地域交流センター		勤労青少年ホーム			運動公園		B&G海洋センター		市民グラ ウンド		野外活動センター		品井沼 干拓資料館
		手樽地区	東部地区	集会所等	図書室	ITルーム	公園施設(外)	温水プール	体育館	その他	ウインド	ロッジ	その他		
4	1,795	98	135	543	927	19	3,312	2,978	981	511	1,180	0	1,169	99	
5	1,776	355	43	442	908	38	3,213	3,228	1,009	570	1,453	44	1,513	42	
6	1,834	308	34	432	969	17	3,962	3,633	1,069	552	1,832	28	987	0	
7	2,517	271	36	388	1041	63	3,659	5,097	1,081	796	1,802	152	1,492	15	
8	2,183	291	36	305	1074	45	4,076	4,648	645	486	1,054	12	1,210	13	
9	3,061	334	49	477	954	21	3,679	3,725	1,502	627	807	53	1,447	95	
10	12,271	687	302	518	843	40	3,960	2,636	4,200	4,638	7,366	35	2,040	52	
11	2,655	571	126	425	1008	14	2,884	3,418	1,205	647	1,021	100	2,353	133	
12	3,057	179	37	407	857	56	2,175	3,087	744	420	350	0	351	5	
1	1,808	371	192	289	845	36	1,294	3,123	818	321	280	0	255	23	
2	3,600	277	160	326	885	32	1,465	3,606	1,005	499	730	0	325	30	
3	3,506	278	165	437	963	210	3,108	3,644	1,077	411	966	0	441	0	
計	40,063	4,020	1,315	4,989	11,274	591	36,787	42,823	15,336	10,478	18,841	424	13,583	507	

(単位：人)

(2) 種別ごと利用状況

施設 種別	文化観光 交 流 館	地域交流センター		勤労青少年ホーム			運動公園		B&G海洋センター		町民グラ ウンド	野外活動センター		品井沼 干拓資料館
		手樽地区	東部地区	集会所等	図書室	ITルーム	公園施設(外)	温水プール	体育館	その他		ロッジ	その他	
一般利用	2,710	3,088	981	0	11,075	384	1,769	32,911	2,571	67	16	10	3,437	214
社会教育団体	4,262	0	0	4,989	0	0	19,548	5,514	8,911	6,108	11,947	35	1678	0
主催事業	17,369	932	56	0	0	207	0	0	0	0	0	0	0	10
町 外	15,722	0	278	0	199	0	15,470	4,398	3,854	4,303	6,878	379	8,468	283
計	40,063	4,020	1,315	4,989	11,274	591	36,787	42,823	15,336	10,478	18,841	424	13,583	507

(単位：人)

教育関係各種委員会及び教育団体等名簿

1 奨学金貸与事業運営委員

(任期：平成31年4月1日～令和2年3月31日)

氏 名	備考（役職・経歴等）
◎ 濱 田 敏 幸	行政区長・行政相談委員
○ 桔 梗 元 子	元学校関係者・人権擁護委員
佐々木 武 弘	松島高等学校校長
高 橋 琢 哉	松島中学校校長
片 倉 弘 美	学識経験者・元小学校教諭

2 学校（園）医

校（園）医名	備考（所属名等）
丹 野 尚	内科医・松島病院
丹 野 治 郎	内科医・松島病院
山 崎 武 彦	内科医・松島海岸診療所
竹 中 紗 代	内科医・小野寺医院
井 上 博 之	歯科医・松島海岸診療所
西 村 真	歯科医・西村歯科医院
大 塚 敏	歯科医・松島中央歯科医院
鈴 木 健 史	眼科医・鈴木眼科医院
鈴 木 道 子	眼科医・仙塩利府病院
安 井 朝 輝	眼科医・やすい眼科
大 浪 英 之	眼科医・おおなみ眼科クリニック
小 林 信 一	耳鼻科医
文 屋 三 雄	薬剤師
石 田 真 也	薬剤師・カメイ調剤薬局松島店
高 橋 克 宏	薬剤師・毛利薬局豊町店

3 学校給食センター運営審議会委員

(任期：令和元年5月1日～令和2年4月30日)

氏 名	役 職 名
永 沼 昌 一	松島第一小学校校長
高 橋 琢 哉	松島中学校校長
齋 藤 幹 雄	松島第一小学校PTA会長
櫻 井 智 恵	松島第二小学校PTA会長
跡 部 友 子	松島第五小学校PTA会長
安 倍 七 恵	松島中学校PTA会長
文 屋 三 雄	学校薬剤師
高 橋 幸 彦	漁協支所運営委員長
福 田 正 朗	利府松島商工会会長
丹 野 信 男	ふるさと食彩委員会会長

4 社会教育委員

(任期：令和元年5月1日～令和3年4月30日)

氏 名	備考（役職・経歴等）
◎ 志 賀 寧	松島観光協会会長
○ 藤 澤 美 子	県青少年育成推進指導員・青少年健全育成松島町民会議副会長
永 沼 昌 一	松島第一小学校校長
高 橋 琢 哉	松島中学校校長
佐々木 武 弘	松島高等学校校長
村 山 進	県サッカー協会事務局・松島フットボールセンター長
千 葉 伸 一	元松島観光協会常務理事
稲 富 慶 雲	大仰寺住職・瑞巖寺管理課長
岸 恵美子	いちろうの会役員
伊 藤 淳 美	元小中学校PTA会長・町子連副会長
郡 山 宗 浩	元松島中学校PTA会長・青少年健全育成松島町民会議副会長
片 倉 誠之助	「松の実」施設長・行政区長

5 文化財保護委員

(任期：平成29年4月1日～令和2年3月31日)

氏 名	備考（役職・経歴等）
◎ 今 野 勝 正	松島ボランティアガイド
○ 新 野 一 浩	瑞巖寺宝物館学芸課長
齋 藤 文 雄	下竹谷分館長・和合太鼓代表
高 橋 守 克	元宮城県文化財保護地区指導員
白 崎 恵 介	宮城県多賀城跡調査研究所主任研究員
佐々木 武 弘	宮城県松島高等学校校長

6 スポーツ推進委員

(任期：令和元年5月1日～令和3年4月30日)

氏 名	備考（役職・経歴等）
◎ 磯 田 昭 平	会 長
○ 伊 藤 栄 子	副会長
赤 間 三 男	
小 関 弘 子	
丹 野 重 信	
後 藤 賢 一	
千 葉 真由美	
佐 藤 州	
青 木 崇	
鈴 木 由美子	

7 勤労青少年ホーム運営委員会委員

(任期：平成29年12月1日～令和元年11月30日)

氏 名	備考（役職・経歴等）
◎ 佐 藤 浩 樹	利府松島商工会理事
○ 櫻 井 昭 市	利府松島商工会事務局長
畠 山 光 夫	松島一の坊ゼネラルマネージャー
赤 間 美和子	おはなしこころ
佐 藤 キヨ子	学識経験者
佐々木 敏 正	関係行政機関（企画調整課）
飯 川 正 昭	関係行政機関（産業観光課）

(◎は委員長, ○は副委員長)

8 分館及び分館役員（任期：平成31年4月1日～令和2年3月31日まで）

分館	職名	氏名	分館	職名	氏名
松島	分館長	戸田 克義	下竹谷	分館長	齋藤 文雄
	主事	阿部 清弥		主事	菊地 正美
	会計	蜂谷 文男		会計	熊谷 正勝
高城	分館長	佐藤 孝一	上竹谷	分館長	阿部 喜明
	主事	岩本 勝治		主事	太田 雄悦
	会計	佐々木 昭一郎		会計	高橋 喜一
本郷	分館長	高橋 富雄	幡谷	分館長	稲垣 雅雄
	主事	北條 久也		主事	遠藤 重勝
	会計	今村 邦身		会計	藤澤 美子
磯崎	分館長	内海 裕	根廻	分館長	小島 彰
	主事	角田 友幸		主事	阿部 良春
	会計	岡田 光弘		会計	鈴木 美智子
手樽	分館長	男澤 裕	初原	分館長	千坂 望
	主事	虎川 忠		主事	安部 弘市
	会計	高橋 賢一		会計	赤間 崇光
北小泉	分館長	櫻井 守	桜渡戸	分館長	佐藤 親喜
	主事	村山 浩治		主事	三浦 幸悦
	会計	佐々木 貴司		会計	大山 房男

9 青少年健全育成推進員 平成31年4月現在

区	氏名	区	氏名
松島	佐々木 みゆき	手樽	男澤 裕
	佐藤 キヨ子		土井 紗織
	新田 晴子		櫻井 玲子
	手代木 政広	北小泉	村山 浩治
	宮田 恵美子		村山 敏子
高城	岩本 勝治	下竹谷	齋藤 文雄
	佐々木 昭一郎		山崎 友美
	佐藤 浩樹		岸 美絵子
	渡辺 浩行	上竹谷	高橋 仁美
	大谷 栄治		阿部 喜明
本郷	高橋 茂	幡谷	遠藤 重勝
	櫻井 信吾		武山 京子
	庄司 智是		赤間 勝典
磯崎	角田 友幸	根廻	阿部 良春
	安藤 正純		小島 典子
	今野 成男	初原	千坂 望
	赤間 哲夫		佐藤 英樹
	阿部 愛里	桜渡戸	小幡 喜美枝
			郡山 宗浩

10 松島町の社会教育・スポーツ団体等一覧

令和元年5月現在

名 称	団体代表者氏名	事務局氏名 及び所在地	名 称	団体代表者氏名	事務局氏名 及び所在地
松島町PTA連合会	跡部友子	松島第五小学校	松島町ゲートボール協会	土井徳夫	樋口博樹
松島町女性団体連絡協議会	澁谷美知子	教育委員会生涯学習班	松島町バドミントン協会	竹谷れい子	櫻井玲子
松島町婦人会	櫻井貞子	同左	NPO法人マリン松島 スポーツクラブ	林裕志	櫻井光之
松島町子ども会育成連合会	早坂忠継	佐藤淳	松島町水泳協会	佐野浩之	小沢幸子
青少年健全育成松島町民会議	遠藤重勝	教育委員会生涯学習班	松島町水泳協会	井上博之	佐々木千代志
松島町老人クラブ連合会	佐藤成之	保健福祉センター内	松島町剣道連盟	大宮司昭倫	櫻井博樹
松島町芸術文化協会	赤間 洵	砂金雅晴	松島町卓球協会	蜂谷文男	松樹栄蔵
品井沼郷土芸能保存会	菅野正己	同左	松島シニア野球連盟	遠藤隆男	磯田昭平
松島町ジュニア・リーグ 「紙ひこうき」	角田愛実	教育委員会生涯学習班	松島バウンドテニス協会	木村春夫	佐々木啓子
松島町体育協会	内海勝洋	遊佐芳博	松島テニス協会	高沢善男	櫻井芳隆
松島町少年野球連盟	斎藤一明	佐々木愛華	松島町グラウンド・ゴルフ協会	川邊進	伊藤栄子
松島町ソフトボール協会	阿部幸夫	木村一	松島町ベタング協会	白鳥征幸	角田定雄
松島町スポーツ少年団本部	赤間三男	内海昭	松島空手道場	小野正晃	大谷秀勝
松島町早起き野球協会	内海勝洋	鈴木浩幸			

11 自主学習グループ

(中央公民館・海洋センター・勤労青少年ホームが主催した各種教室の修了者の皆さんが活躍しているグループです。)

○文化観光交流館(中央公民館)関係

No	サークル(団体)名	活動内容	代表者名	No.	サークル(団体)名	活動内容	代表者名
1	コーラス渚	コーラス	鈴木とき子	12	岬俳句会	俳句	鈴木とき子
2	松島絵画教室	絵画	渡辺力	13	墨を楽しむ会	水墨画	加藤八重子
3	グループエリカ	ボランティア	永山松子	14	宮城岳風会松島教場	詩吟	高橋かつみ
4	編物愛好会	手編み	佐々木敏子	15	フォークダンス愛好会	フォークダンス	今野ゆう子
5	松島五大堂太鼓の会	太鼓	千葉忠夫	16	松島日本語教室	日本語教室	林京
6	松島ソーシャルダンス	社交ダンス	高橋忠	17	お花を楽しむ会	フラワーアレンジ	石井清美
7	実用書道愛好会	書道	岩渕泰子	18	ヨーガ愛好会	ヨーガ	西條万智子
8	七宝焼たんぼの会	七宝焼	内海かつ子	19	オハナ松島	フラダンス	小関弘子
9	おたまじゃくし	コーラス	庄司壽子	20	フォークダンス赤い靴	フォークダンス	赤間厚子
10	囲碁愛好会	囲碁	村上修	21	おくの細道松島海道	奥の細道と郷土史	京野英一
11	松島善意通訳者の会	通訳	相澤多恵子				

○ 勤 労 青 少 年 ホ ー ム 関 係

No	サークル（団体）名	活動内容	代 表 者 名	No	サークル（団体）名	活動内容	代 表 者 名
1	三 味 線 愛 好 会	民謡の練習	佐 藤 辰 巳	10	スマイルライフヨガ	ヨ ヲ ガ	尾 形 華 香
2	松島マリンギターアンサンブル	ギターの練習	高 橋 きよ枝	11	オカリナサークル	オカリナ	菅 野 妙 子
3	太 極 拳 夢 ク ラ ブ	太 極 拳	千 葉 桂 子	12	ウクレレサークル	ウクレレ	佐 藤 匡 史
4	松 島 押 花 教 室	押花教室	深 堀 宣 子	13	アートフルいこい	健康セミナー	櫻 井 静 江
5	才能教育研究会松島教室	バイオリン教室	赤 間 香 澄	14	大 正 琴 教 室	大 正 琴	今 泉 正 子
6	カツヨシ勤労青少 年ホーム教室	歌謡教室	渡 辺 ケイ子	15	菅 原 智 琴 教 室	大 正 琴	内 海 良 子
				16	池 坊 京 極 社 中	華 道	遠 藤 幸 恵
7	着 付 け 教 室	着付け教室	長 岡 寿美子	17	B r i c l a g e	マ-フルアート	水 間 久 美
8	おはなしこころ	読み聞かせ	佐 藤 雅 恵	18	おはなしあっぷる	読み聞かせ	桔 梗 元 子
9	健 康 サ ー ク ル	健康体操	佐々木 か よ	19	山 野 流 着 装 教 室	着付け教室	小 泉 貞 子

○ B & G 海 洋 セ ン タ ー 関 係

No	サークル（団体）名	活動内容	代 表 者 名	No	サークル（団体）名	活動内容	代 表 者 名
1	バドミントン同好会	バドミントン	熊 谷 克 子	14	松 島 B T チ ー ム	バウンドテニス	木 村 春 夫
2	フェニックス松島	バドミントン	竹 谷 れい子	15	松島バドミントンクラブ少年の部	バドミントン	相 澤 正 史
3	バウンドテニス愛好会	バウンドテニス	京 野 美奈子	16	m o c a	バレーボール	白 瀬 陽 子
4	松 島 卓 球 愛 好 会	卓 球	千 田 茂 雄	17	ス マ ッ プ	バドミントン	高 橋 よしえ
5	パ ド ク ラ ブ	バドルテニス	佐々木 啓 子	18	松島アトム体操クラブ	体 操	青 沼 幸 彦
6	松島バドミントンクラブ	バドミントン	横 田 晴 輝	19	エアロビクスサークルらん	エアロビクス	遊 佐 洋 子
7	あ お ば ク ラ ブ	バレーボール	金 澤 博 子	20	健康太極拳愛好会	太 極 拳	名 雪 洋 子
8	松 島 町 卓 球 協 会	卓 球	蜂 谷 文 男	21	日 本 3 B 体 操 協 会	健康体操	佐 藤 多嘉子
9	バドミントン愛好会	バドミントン	宮 内 純	22	フ レ ン ド ク ラ ブ	軽 運 動	桜 井 幸 子
10	P P C ・ き ら ら	卓 球	千 田 茂 雄	23	松島町ゲートボール協会高城支部	ゲ-ートボ-ル	渡 部 み よ
11	健 康 卓 球	卓 球	千 坂 喜 一	24	松 島 町 役 場 卓 球 部	卓 球	長 田 大 知
12	な か よ し 会	バドミントン	阿 部 佐佳子	25	松 島 町 ベ タ ン ク 協 会	ベ タ ン ク	白 鳥 征 幸
13	野 蒜 ク ラ ブ	バドミントン他	千 葉 繁 子	26	マリソル松島太極拳教室	太 極 拳	古 山 秀 司

令和元年度 松島町教育委員会 職員名簿

教育長 内 海 俊 行

教育次長 児 玉 藤 子

課 長 赤 間 隆 之

学校教育班

班 長 大宮司 綾
主 査 佐 藤 恵 一
主 査 佐 藤 弘 也
主 事 及 川 由 夏
主 事 磯 田 友 希
主 事 小 岩 輝

生涯学習班

班 長 石 川 祐 吾
(社会教育主事)
主 幹 佐 藤 純
(社会教育主事)
主 査 (学芸員) 森 田 義 史
主 事 櫻 井 拓 郎
技 師 (学芸員) 泉 田 成 美
技 師 (学芸員) 米 城 百合子

学校給食センター

所 長 赤 間 香 澄

文化観光交流館

(兼中央公民館)

松島第一幼稚園

園 長 今 野 志 保
教 諭 丹 野 麻 美
教 諭 武 田 志 保
教 諭 戸 井 昌 己

館 長 佐 藤 淳
主 査 佐々木 洋 美
主 査 酒 井 敏 子
(兼)主事 櫻 井 拓 郎

勤労青少年ホーム

松島第二幼稚園

園 長 鎌 田 敦 子
主査(教諭) 和 泉 実 佳
(併)主査(教諭) 佐 藤 千恵美
教 諭 内 海 みのり
教 諭 阿 部 礼 奈

(兼)所長 佐 藤 淳
(兼)主査 酒 井 敏 子

松島第五幼稚園

園 長 大宮司 陽 子
主査(教諭) 渡 邊 理 加
教 諭 吉 田 大 育

令和元年度 松島町の教育

発行：令和元年8月発行
編集：松島町教育委員会

〒981-0215

松島町高城字歸命院下一19番地の1

TEL 022-354-5713 FAX 022-354-3140

E-mail kyouiku@town.matsushima.miyagi.jp

HP <http://matsushima.ed.jp>